

教育委員会の事務の管理及び執行状況の

## 点検及び評価の報告書

令和元年度対象

---

---



八街市教育委員会

令和2年9月



# 目 次

八街市民憲章、青少年健全育成都市宣言	1
やちまた教育の日、市の花「ヒマワリ」制定	2
総括 1. 点検評価の目的及び対象	3
2. 点検評価の期日	3
3. 点検評価の方法	3
4. 令和元年度事業の概要	4
5. まとめ	4
事務事業評価一覧表	7
教育委員会の事務事業評価シート	
1. 教育委員報酬	11
2. 教育委員会諸費	13
3. 教育委員会事務局諸費	15
4. 小学校施設整備事業費	17
5. 小学校空調設備整備事業費(明許繰越分)	19
6. 小学校管理諸費	21
7. 小学校施設維持管理費	23
8. 中学校施設整備事業費	25
9. 中学校施設整備事業費(明許繰越分)	27
10. 中学校空調設備整備事業費(明許繰越分)	29
11. 中学校管理諸費	31
12. 中学校施設維持管理費	33
13. 中学校施設改修事業費	35
14. 幼稚園施設整備事業費	37
15. 幼稚園諸費	39
16. 幼稚園施設維持管理費	41
17. 教育指導諸費	43
18. 外国語指導助手事業費	45
19. 教育支援センター管理運営費	47
20. 教育センター運営費	49
21. 育て八街っ子推進事業費	51
22. 教育支援体制整備事業費	53
23. 小学校教育振興費	55
24. 小学校教材備品等購入費	57
25. 小学校理科教育振興用備品購入費	59
26. 小学校児童援助奨励費	61
27. 中学校教育振興費	63
28. 中学校教材備品等購入費	65

29. 中学校理科教育振興用備品購入費	67
30. 中学校生徒援助奨励費	69
31. 学校保健管理費	71
32. 学校保健諸費	73
33. 社会教育振興費	75
34. 青少年健全育成費	77
35. 文化財保護費	79
36. 社会教育振興費(明許繰越分)	81
37. 中央公民館管理運営費	83
38. 中央公民館整備事業費	85
39. 図書館管理運営費(臨時職員の雇用、施設等の維持管理)	87
40. 図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)	89
41. 図書館整備事業費	91
42. 視聴覚教材費	93
43. 郷土資料館管理運営費	95
44. 市史編さん費	97
45. 八街市ピーナツ駅伝大会運営費	99
46. 学校開放推進費	101
47. 保健体育総務費	103
48. 体育振興費	105
49. 郡市民体育大会運営費	107
50. 体育施設維持管理費	109
51. 体育施設整備事業費	111
52. スポーツプラザ管理運営費	113
53. スポーツプラザ整備事業費	115
54. 学校給食センター一般管理費	117
55. 学校給食センター調理場維持管理費	119
56. 学校給食センター調理場給食事業費	121
57. 学校給食センター調理場維持管理費(明許繰越分)	123

学校評価の部

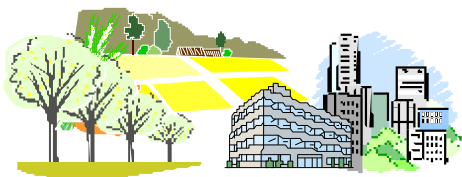
学校評価の考察方法	124
評価コメント	125
評価結果の考察 ①子どもの様子に関する項目	126
②学習指導に関する項目	127
③学校・家庭・地域の連携に関する項目	128

## 八街市民憲章

わたくしたちの八街は、開拓の歴史と恵まれた自然環境の中で、先人の努力によって栄えてきたまちです。

わたくしたちは、「ヒューマンフィールドやちまた」を目指して、調和のとれたよりよいまちづくりのために、この憲章を定めます。

1. 郷土を愛し、文化のかおり高いまちにしましょう。
1. 自然を大切にし、潤いのある美しいまちにしましょう。
1. きまりを守り、明るい住みよいまちにしましょう。
1. おもいやりのある、心のかよった豊かなまちにしましょう。
1. スポーツに親しみ、健康で働くたくましいまちにしましょう。



〈平成4年9月28日制定〉  
八 街 市

## 青少年健全育成都市宣言

ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまたを大きく発展させ、次代の八街を創る者は、青少年です。

青少年が、夢、希望を持ち、自由と責任を自覚しながら、たくましく生きていく力を蓄え、広く社会に役立つ人材に成長することは、市民すべての願いです。この願いを実現するため、青少年自らの努力を期待するとともに、家庭、学校、地域社会が一体となり、優しさと潤いのある環境の中で青少年を心身共に健やかに育てることを決意し、ここに八街市を『青少年健全育成都市』とすることを宣言する。



〈平成20年3月19日制定〉  
八 街 市

## 11月12日は「やちまた教育の日」

八街市教育委員会では、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の具現化に向け、明日の八街市を担う、夢をいだき心豊かでたくましく生きる子ども達を育てるため、様々な施策を展開しているところであります。

次代を担う人々が、八街で生まれ育ったことを誇りとし、健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域の相互の連携を推進するとともに、市民一人ひとりが教育に対する理解と関心を深め、それぞれの場で役割を担い、やちまたのひとづくりに積極的に参加していただくことが不可欠であります。

八街市教育委員会では、〈学校改善〉〈継続指導〉〈学校・家庭・地域との連携〉の3つの柱を視点とした『幼小中高連携教育』を全国に先がけ平成9年から取り組み、その成果を平成16年に全国公開で発表した、11月12日を「やちまた教育の日」と定め、併せて11月を「やちまた教育の日月間」として決めました。



〈平成22年4月1日制定〉  
八街市教育委員会



## 市の花『ヒマワリ』



市制施行20周年の節目にあたり、市の花を「ヒマワリ」に指定しました。

天に向かって一直線に伸び、鮮やかな大輪の花を咲かせるイメージから『【ひ】かり輝き、【ま】わりを照らす、【わ】たしもあなたも、【り】っぱに育てよ』と、次代を担う子どもたちへの思いを込め、「ヒマワリ」が市の花に決定しました。

〈平成25年2月1日制定〉  
八 街 市

## 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項 に基づく教育委員会の点検及び評価について（総括）

### 1. 点検評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

そこで、本年度も令和元年度執行の教育委員会の権限に属する全ての事務事業について、決算状況を踏まえた上で点検評価を行いました。

その他、教育委員会の所管する全ての幼稚園、小中学校及び教育施設の教育委員会訪問を行いました。その際、授業や施設の状況などを参観するとともに、学校長等から学校運営、学校の課題、学校の現状などの説明を受け、質疑応答を行うことなど、学校及び教育施設の状況を把握することに努めました。

### 2. 点検評価の期日

- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| ①担当課による一次評価             | 令和2年6月25日 |
| ②教育委員会による二次評価           | 令和2年7月31日 |
| ③教育に関して知見を有する者を活用した外部評価 | 令和2年8月27日 |

### 3. 点検評価の方法

令和元年度の点検及び評価の実施にあたっては、「八街市教育委員会事務事業評価実施要領」により作成された、教育委員会事務事業評価シートにより評価を実施しました。

事務局等の評価は、一次評価として位置づけ、関係職員から事情を聴取することによって評価を実施しました。

二次評価については、昨年度と同様、教育長及び教育委員4名による評価とし、シートの評価欄については、5名の評価を取りまとめた判定結果を4段階（A, B, C, D）で記載しました。

さらに、この評価結果について、教育に関し学識経験を有する方2名の知見を受け、事務事業の外部評価としました。

二次評価及び外部評価の結果一覧については、7ページから9ページに「事務事業評価結果一覧表」として記載しました。

## 4. 令和元年度事業の概要

八街市教育委員会では、令和元年度においても、八街市総合計画2015における、八街市がめざす将来都市像である、「ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた」の実現に向け、重点施策として、「八街市教育施策」においても取り組んでいるⅠ『子どもの教育・健全育成の充実』、Ⅱ『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』、Ⅲ『市民文化の創造と継承』、Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』に努め、様々な事業を展開しています。

施策がめざす基本的方向として、次の方針に基づいた事業に取り組んでいます。

### Ⅰ『子どもの教育・健全育成の充実』

子どもたちが健全に成長し、人間性豊かな心を育むために、八街の特色を活かした教育活動や学習環境の充実を図ります。また、学校・家庭・地域が連携した地域ぐるみの青少年健全育成に努めます。

### Ⅱ『自ら学ぶ生涯学習・スポーツの推進』

生涯学習社会の形成を目指し、さまざまな学習活動の支援と学習成果を生かすことの出来る機会づくりに努めます。また、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の拡充を図ります。

### Ⅲ『市民文化の創造と継承』

市民の芸術文化活動を支援し、発表や交流の場を拡充するとともに、八街の歴史文化遺産の保護・継承と活用に努めます。

### Ⅳ『豊かな心を育む交流の推進』

国際交流、地域交流、世代間交流を推進し、広い視野を持つ人材の育成や、人々が交流する場の提供に努めます。

## 5. まとめ

今回教育委員会が行った事務事業の評価結果は、事務事業評価一覧表のとおりです。

教育委員会の令和元年度に執行した事務事業については、総じて厳しい財政状況の中で、工夫・努力し推進しており、全体を通して事務事業において概ね適正であったと評価をいただきました。また、昨年的大型台風や新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、休暇の時期等が変動しましたが、空調設備が整っていることにより、熱中症等心配をせずに、時期等を決定することが出来たことについては、高い評価をいただきました。

外部評価としては、平成22年度（平成21年度実施分）から2名の方にお問い合わせしており、それぞれの評価を記載しました。



## 二次評価（教育委員）の意見等

- ・教育センター費の事業内容の中では、「教育センターが独立したことを契機に、研修体制及び研修支援センターとしてのはたらきを強化する」とありますが、本年度予算額は大幅に減となっています。市の財政がひっ迫している中ですが、教育センターを市教育研修の中核として機能させるには、予算的配慮をして、充実させることも必要かと思います。
- ・厳しい財政の中、市内すべての学校に空調設備が設置されたことは、大変ありがたいことです。これは、平素の学習環境の改善に止まらず、今後、自然災害や新感染症等が原因で、長期休校せざるを得ない事態になっても熱中症等の心配をせずに長期休業を活用して授業時数の確保が出来るので、子ども達の学びを保証する面でも、大きな役割を果たすものと思います。
- ・カウンセラーによるカウンセリング件数や、小学校巡回相談回数が、減少傾向から増加傾向に転じたことは、とても良いことだと思います。
- ・連携教育アンケートの考察は、連携教育の成果や課題をしっかりと踏まえて、次の改善・向上へと繋げていくための大きな手段となるはずなので、毎年実施する必要があると思います。
- ・限りある予算の中で、有効に事業執行されていることがうかがえます。最小の経費で最大の効果を得ることを心がけて、計画通りに執行されていると思料できます。

## 外部評価の意見等

- ・小・中学校の空調設備整備事業費においては、施行方法の精査や工事の一括発注などにより圧縮に努めたとのことであり、円滑かつ効果的に事業が推進・完了できたものと考えます。
- ・カウンセラーによるカウンセリング件数や小学校巡回相談の回数が増加しており、事業が有効に活用されていることが伺えます。
- ・英語教育の充実に向けて、子どもたちが英語に親しむための企画や教師の指導力の向上にALTが有効に活用されていることが伺えます。
- ・中央公民館・図書館・郷土資料館については、施設の長寿命化を図ることによる財政負担の増加への懸念や市民ニーズへの迅速かつ適切な対応の必要性などを考慮して基本構想が策定されたと伺っています。いずれも重要な視点だと思いますのでこの基本構想をベースに具体的な検討が進むことを期待します。
- ・令和の新時代の幕開けは、市長・教育長・委員会事務局・議会等市挙げての学校の冷房設備、IT関連設備充実に向けての元年として大きく評価します。一方、台風、豪雨、コロナ禍へと続く災害対応にも市ぐるみの組織のもと、地域、各学校等本当に地道な努力取り組みに深く敬意を申し上げます。
- ・カウンセラーの小学校巡回相談件数、前年比およそ三倍を評価します。

各校の教育相談体制、若年層教員のサポートは、多様化する児童・家庭の安定を図るものです。また、育て八街っ子推進事業では、市内幼小中高16校の共通行動・実践の成果が、生活の安定を軸に学力向上、進路選択にプラスに働いているように見受けられます。

・教育支援体制整備事業費では、インクルーシブ教育（共生）を目指す要請、発達障害支援アドバイザーの存在、役割は大きいです。各園、各校との連携が、引き継ぎシートの活用をベースに行われているようです。

・小中学校の援助奨励費では、経済的な軸による教育の格差の防止、コロナ禍の流れで拡大の傾向ですが、給食費、クラブ活動費等、成長に著しく係る領域への援助なので、引き続き認定基準の厳格化の元、続けていただくことを望みます。

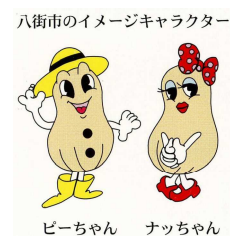
・少子高齢化が象徴される社会教育。”子どもは地域で育つ”元年の台風・豪雨被害からコロナ禍など新しい生活様式と被害最小限の現状は、社会教育の成果の賜であると思います。中央公民館の環境づくりなど、市、地域の協働連携は素晴らしいです。

また、令和の時代は、まさに協調・協働の世です。IT, ロボットの開発が進み快適な生活が営まれています。今一度、人間とは、人間の良さ、地域や自治体の在り方、進むべき道を市民ファーストの目線で論じていく必要は、大いに評価できます。

・行政や学校、PTA等の献身的な取り組みの中で子ども達が成長しています。学校周辺の花植え、各ボランティア活動への参加と社会活動参加はうれしく思います。

・視聴覚教材費は、著しい技術改新の中で市民・市内関係団体のニーズをきちんと把握する必要があると思います。。現有の機器等を最大限に活用する策を検討し、県、近隣市町の動向を踏まえた方向性を考えることを望みます。

※この評価結果につきましては、ホームページで公表しております。



# 事務事業評価一覧表 〔令和元年度事業の評価〕

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
1	9	1	1	教育総務課	教育委員報酬	A	A	A	A	A	A	A
2	9	1	1	教育総務課	教育委員会諸費	A	A	A	A	A	A	A
3	9	1	2	教育総務課	教育委員会事務局諸費	A	A	A	A	A	A	A
4	9	2	1	教育総務課	小学校施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
5	9	2	1	教育総務課	小学校空調設備整備事業費 (明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
6	9	2	1	教育総務課	小学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
7	9	2	1	教育総務課	小学校施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
8	9	3	1	教育総務課	中学校施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
9	9	3	1	教育総務課	中学校施設整備事業費 (明許繰越分)	A	B	A	A	A	A	A
10	9	3	1	教育総務課	中学校空調設備整備事業費 (明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A
11	9	3	1	教育総務課	中学校管理諸費	A	A	A	A	A	A	A
12	9	3	1	教育総務課	中学校施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
13	9	3	3	教育総務課	中学校施設改修事業費	A	A	A	A	A	A	A
14	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
15	9	4	1	教育総務課	幼稚園諸費	A	A	A	A	A	A	A
16	9	4	1	教育総務課	幼稚園施設維持管理費	A	B	A	A	A	A	A
17	9	1	3	学校教育課	教育指導諸費	A	B	B	A	B	B	B
18	9	1	3	学校教育課	外国語指導助手事業費	A	A	A	A	A	A	A
19	9	1	3	学校教育課	教育支援センター管理運営費	A	A	A	A	A	A	A

# 事務事業評価一覧表 〔令和元年度事業の評価〕

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
20	9	1	3	学校教育課	教育センター運営費	A	A	B	A	A	A	A
21	9	1	3	学校教育課	育て八街っ子推進事業費	B	B	B	A	B	B	B
22	9	1	3	学校教育課	教育支援体制整備事業費	A	B	B	B	B	B	B
23	9	2	2	学校教育課	小学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
24	9	2	2	学校教育課	小学校教材備品等購入費	A	A	B	A	A	A	A
25	9	2	2	学校教育課	小学校理科教育振興用備品購入費	A	A	B	A	A	A	A
26	9	2	2	学校教育課	小学校児童援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
27	9	3	2	学校教育課	中学校教育振興費	A	A	A	A	A	A	A
28	9	3	2	学校教育課	中学校教材備品等購入費	A	A	B	A	A	A	A
29	9	3	2	学校教育課	中学校理科教育振興用備品購入費	A	A	B	A	A	A	A
30	9	3	2	学校教育課	中学校生徒援助奨励費	A	B	B	B	B	B	B
31	9	6	2	学校教育課	学校保健管理費	A	A	A	A	A	A	A
32	9	6	2	学校教育課	学校保健諸費	A	A	A	B	A	A	A
33	9	5	1	社会教育課	社会教育振興費	A	B	B	A	B	B	B
34	9	5	1	社会教育課	青少年健全育成費	B	B	B	A	B	B	B
35	9	5	1	社会教育課	文化財保護費	A	A	A	A	A	A	A
36	9	5	1	社会教育課	社会教育振興費 (明許繰越分)	A	B	B	A	B	B	B
37	9	5	2	中央公民館	中央公民館管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
38	9	5	2	中央公民館	中央公民館整備事業費	A	A	A	A	A	A	A

# 事務事業評価一覧表 〔令和元年度事業の評価〕

番号	款	項	目	所管課等	事務事業名	事務事業の評価 (教育委員会評価)					外部評価	
						必要性	有効性	効率性	公平性	総括 評価		
39	9	5	3	図書館	図書館管理運営費 (臨時職員の雇用、施設等の維持管理)	A	A	A	A	A	A	A
40	9	5	3	図書館	図書館管理運営費 (資料収集、読書の普及、利用促進)	A	B	A	A	A	A	A
41	9	5	3	図書館	図書館整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
42	9	5	3	図書館	視聴覚教材費	B	C	B	A	B	B	B
43	9	5	4	郷土資料館	郷土資料館管理運営費	A	A	A	A	A	A	A
44	9	5	5	郷土資料館	市史編さん費	A	A	A	A	A	A	A
45	9	6	1	スポーツ振興課	八街市ピーナッツ駅伝大会運営費	A	A	A	A	A	A	A
46	9	6	1	スポーツ振興課	学校開放推進費	A	A	A	A	A	A	A
47	9	6	1	スポーツ振興課	保健体育総務費	A	A	A	A	A	A	A
48	9	6	1	スポーツ振興課	体育振興費	A	A	A	A	A	A	A
49	9	6	1	スポーツ振興課	郡市民体育大会運営費	A	A	A	A	A	A	A
50	9	6	3	スポーツ振興課	体育施設維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
51	9	6	3	スポーツ振興課	体育施設整備事業費	A	A	A	A	A	A	A
52	9	6	4	スポーツプラザ	スポーツプラザ管理運営費	A	B	A	A	A	A	A
53	9	6	4	スポーツプラザ	スポーツプラザ整備事業費	A	B	A	A	A	A	A
54	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター一般管理費	A	A	A	A	A	A	A
55	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場維持管理費	A	A	A	A	A	A	A
56	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場給食事業費	A	A	A	A	A	A	A
57	9	6	5	学校給食センター	学校給食センター調理場維持管理費 (明許繰越分)	A	A	A	A	A	A	A

## 教育委員評価の判定について

### 教育委員評価判定内規

各項目の判定にあたって、各委員の評価の取りまとめ方について

	i 委員	ii 委員	iii 委員	iv 委員	v 委員	評価	
例①	A	A	A	A	A	評価	A
例②	A	A	A	A	B	評価	A
例③	A	A	A	B	B	評価	B
例④	A	A	A	B	C	評価	B
例⑤	A	A	A	A	C	評価	A
例⑥	A	A	A	C	C	評価	B
例⑦	A	A	B	B	C	評価	B
例⑧	A	A	B	C	C	評価	B
例⑨	A	B	B	C	C	評価	C
例⑩	B	B	B	C	C	評価	C

下位が2以上あれば下位評価とする

下位評価が1の場合は上位評価とする

下位が2以上あれば下位評価とする

この他の評価パターンが生じた場合は上記の基準に照らし判断するものとします。

## 教育委員会の評価基準

### Check 事務事業の評価

**必要性** 市民からのニーズ、手段、及び市が関与することの妥当性について検証します。

\* 市民ニーズ

- a・・・増大若しくは極めて高い
- b・・・高い
- c・・・やや低い
- d・・・低い

\* 妥当性

- a・・・法定受託事務や市が直接関与するよう法律や法令で定められた事業など
- b・・・公共性や収益性の観点から市が関与すべき事業
- c・・・役割分担可能であるが市関与が望ましい事業
- d・・・市で関与することは妥当性が少ない(民営化または縮小・廃止を検討すべき)

**有効性** 期待された成果に対する実施成果を検証します。

- a・・・期待された成果以上の高い成果が得られた
- b・・・概ね期待通りの成果が得られた
- c・・・成果はやや低い
- d・・・成果は低い

**効率性** 事業効率の向上、コスト低減の可能性などについて検証します。

- a・・・向上の余地なし(低減の余地は全くない)
- b・・・向上の余地はあまりない(低減の余地はあまりない)
- c・・・向上の余地あり(低減の余地あり)
- d・・・向上の余地は大きい(低減の余地は大きい)

**公平性** 事業効果の配分や受益者負担の公平性について検証します。

- a・・・検討の余地なし
- b・・・検討の余地はあまりない
- c・・・検討の余地あり
- d・・・検討の余地は大きい

**総括評価** 事務事業の総括及び実施上の課題について検証します。

期待された成果に対する実施成果を検証します。

- a・・・適切に実施されており検討の余地はない
- b・・・概ね適切に実施されており検討の余地はあまりない
- c・・・検討の余地あり
- d・・・検討の余地は大きい

## 教育委員会の事務事業評価シート

## 【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
① 事務事業の概要	事務事業名	教育委員報酬						所管課等	部 局	教育委員会			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	教育総務課・庶務班			
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1442	内線	2353	
		具体的施策							E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp			
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例				
	直接の対象者 (〜に対して)	教育委員						最終的な受益者	市民				
事業目的 (〜という状態にするために)	教育行政を運営するにあたり、地方公共団体に教育委員を置き、地域の実情に応じた教育の振興を図る。												
具体的な事業内容 (〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議として、定例会及び臨時会を開催する。</li> <li>・教育委員による学校等教育機関訪問を実施する。</li> <li>・総合教育会議の構成員として、市長が招集する会議に出席する。</li> </ul>												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	事業の実績	1	教育委員会定例会等開催数	回	14	13	12	12					
		2	総合教育会議出席数	回	1	1	1	2					
	事業の効果	1	定例会等議案審議件数	件	51	50	49	50					
		2	総合教育会議協議案件数	件	1	3	4	3					
		事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の会務に対する管理・監督に寄与している。</li> <li>・教育委員会会議を定期的に開催し、市の教育行政に係る基本方針や重要施策を審議・決定し、適正な運営に努めた。</li> </ul>										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	2,278	2,208	2,208	2,208						
	決算額	特定・その他財源( )		千円	2,278	2,208	2,208						
		一般財源		千円	2,278	2,208	2,208						
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	2,208								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、その教育行政の重要施策を審議・決定する教育委員会会議は、市民の生活に直接関係があるため、必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	月1回の定例会の開催に合わせ、学校等教育機関の訪問を実施し、現状の把握に努めた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回の定例会において、集中的に審議を行うことで、効率的な事務事業の執行を行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	教育委員会で決定された教育施策は、市教育行政全体へ反映されるため、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市のホームページで議事録(公表できない部分を除く)を公開し、透明性に努めるとともに市民のニーズに応じていく。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
			評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・教育を取り巻く環境が激変する中で、教育委員会は実態を把握し、より実効的な活動をするため、平成17年度から実施している学校等教育機関訪問を引き続き実施する。 ・教育委員会会議、総合教育会議等の議事録、活動内容等をホームページで公開するなど、教育委員会の透明性を保持する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了  ・教育委員会会議は、教育行政の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していかなければならない。 ・さらに現状を把握し、「総合教育会議」の利活用を充実し、教育委員会の一層の活性化を図る。				

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	教育委員会諸費						所管課等	部 局	教育委員会		
	(八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	教育総務課・庶務班		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1442	内線 2353	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市教育委員会表彰規程			
	直接の対象者 (～に対して)	市民・教育委員						最終的な受益者	市民			
	事業目的 (～という状態にするために)	・教育、学術、文化又はスポーツの振興に関し、優秀な人材育成に資する。 ・教育委員会の活性化を図るため、教育委員の資質・能力の向上を図る。										
	具体的な事業内容 (～を行う)	・教育委員会定例表彰式を実施する。 ・教育委員が、研修等に参加する。										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	1	定例表彰式の実施	回	1	1	1	1				
		2	教育委員の研修等への参加	回	4	3	3	3				
	事業の効果	1	教育委員会表彰被表彰者	人(団体)	25	35	41	30				
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・教育、学術、文化又はスポーツに関し、功績が顕著であった個人又は団体を顕彰し、優秀な人材の育成に寄与している。 ・教育委員においては、県並びに印旛郡市の協議会が主催する研修等に積極的に参加し、能力の向上が図られている。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	220	210	205	199					
	決算額		千円	168	185	180						
		特定・その他財源( )	千円									
		一般財源	千円	168	185	180						
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	80								
			負担金	100								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	定例表彰式の実施は、教育、学術、文化、スポーツに対する意欲の向上に大きく貢献しており、ニーズは高い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	教育、学術、文化、スポーツの振興を目的としており、公共性・公平性が求められることから、市が主体となる必要があり、関与は妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	本市の教育、学術、文化、スポーツの振興に貢献している。また、教育委員の研修等を実施することにより、資質・能力の向上が図られている。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	教育委員会の定例表彰式と八街市定例表彰式を合同で行うことで、効率性を高めている。また、教育委員の研修等は、県や印旛郡市の協議会が主催することから、周辺市町との交流も深めることができる。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	必要な経費を公費負担することは問題ない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市教育行政の方向性を共有するための基礎となることであり、今後も継続していきたい。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・多面的な情報収集に気を配っていきたい。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・スポーツ大会等が多様化しており、定例表彰候補者の選定に苦慮しているが、公平な審査基準を保持できるよう努めたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名		教育委員会事務局諸費					所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・庶務班		
									電話番号	443-1442	内線	2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
	(八街市総合計画) 2015		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
			具体的施策	学校教育の充実								
			実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業				
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則			
	直接の対象者 (～に対して)		教育委員会事務局					最終的な受益者	市民			
事業目的 (～という状態にするために)		・教育委員会が実施する施策等を円滑かつ効率的に行うために、その庶務的な事務を行う。										
具体的な事業内容 (～を行う)		・教育委員会が雇用する臨時職員の共済費(社会保険・雇用保険・労災保険)に関する事務を行う。 ・教育委員会事務局の代表である教育長に係る経費(旅費・交際費・負担金等)の支出する。 ・教育委員会事務事業の点検及び評価を実施する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	1	教育委員会臨時職員	人	104	107	109	109				
		2	臨時職員の保険料	千円	1,011	1,037	1,008	1,276				
		3	教育長交際費	件	12	13	14	12				
	事業の効果											
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・教育委員会に係る教育機関や学校・幼稚園においては、より良い人材の確保が重要であるなか、臨時職員等の活躍は欠かすことができず、教育委員会が実施する施策等の遂行に大いに貢献できた。 ・教育委員会の主管課として、事務事業のとりまとめ役を果たしている。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	3,090	2,956	36,188	602					
	決算額			千円	2,568	2,688	35,829					
		特定・その他財源( )	千円	216	243	254						
	一般財源		千円	2,352	2,445	35,575						
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			共済費	1,008	委託料	32,076						
			交際費	77	備品購入費	2,181						
			需用費	263	負担金及び補助金	169						

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心・注目が高まっている中、各種要望等に対応しなければならない。				A	
		市の関与は妥当ですか	a	教育施策を実現するため、教育委員会事務局内の事務の円滑化を図ることが重要である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	事務の円滑化が図られることにより、教育施策の早期実現が可能となる。				A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度ごとに事務事業の評価・点検を実施することにより、常に見直しを行っている。				A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	施策が実現されることにより、効果が広く市民に還元される。			A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	多種・多様なニーズに対し、現状の限られた予算・人員でいかに迅速かつ的確に対応していくかが課題となってくる。				A	
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい				評価者 1		A	
						評価者 2		A	
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性		・令和元年度に見直しをした教育振興基本計画に基づき事業を円滑に取り組んでいく。 ・会計年度任用職員制度の施行により、人件費の支出が総務課に変わったため予算額の減が見られるが、人数など前年度と大きな変更はない。						
	事務事業の今後の方向性		取り組み方向						
			<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了						
		・教育振興基本計画をベースとした教育施策に基づき、教育委員会事務局内の事務を円滑に進められるよう努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

## 教育委員会の事務事業評価シート

## 【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校施設整備事業費						部 局		教育委員会	
								課等・班		教育総務課・施設班	
								電話番号		443-1442 内線 2355	
								E-mail		kvousou@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
	直接の対象者(～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員		
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。										
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の改修、設備の交換等を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	26	29	20	20			
		2	委託件数	件	1	1	0	0			
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	24,552	53,311	19,401	25,613			
		2	委託の実施	千円	432	491	0	0			
		事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。							
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。 ・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。 ・RIの主な工事として、八街市立小学校防火シャッター改修工事等を実施した。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	25,051	53,921	19,401	25,613				
	決算額			千円	24,984	53,803	19,401				
		特定・その他財源( )	千円		24,450						
	一般財源		千円	24,984	29,353	19,401					
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費 19,401								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地は無い。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設維持管理工事(6,000千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。</li> <li>枠外要求の笹引小学校屋内運動場床改修工事等は、適時適切な工事を実施していく。</li> </ul>				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。</li> </ul>			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校空調設備整備事業費(明許繰越分)						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	教育総務課・施設班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線 2355
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp	
		具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
	直接の対象者(〜に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員		
事業目的(〜という状態にするために)	・小学校に空調設備を設置し、児童の教育環境の向上を図る。										
具体的な事業内容(〜を行う)	・H30 市立小学校の空調設備設置工事設計業務の委託を行う。 ・R1 市立小学校の空調設備設置工事を行う ・R1 市立小学校の空調設備設置工事監理業務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
			・八街市教職員組合・八街市小中学校校長会から空調設備の設置要望がある。 ・議会的一般質問にて、教室への空調設備の設置要望がある。								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	0	2	2				
		2	業務委託契約数	件	1	6	2				
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	0	65,236	537,732				
		2	設計及び監理業務の実施	千円	1,868	24,700	16,438				
		3	工事に伴う消耗品	千円	0	74	131				
事業効果に関する外部要因		・良好な教育環境の施設整備が求めており、各方面から強く要望されているため、事業計画、整備手法等の検討が必要である。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・H30川上小学校の空調設備設置工事を完了し、他8校の設計業務を行った。 ・R1未整備であった8校の空調設備を整備し事業を完了した。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		4,212	148,043	852,242				
	決算額			千円	1,868	90,010	554,300				
		特定・その他財源( )	千円	1,400	73,100	554,300					
	一般財源		千円	468	16,910	0					
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	130							
			委託料	16,438							
			工事請負費	537,732							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	近年の夏は猛暑続きであり、児童の学習環境の改善からも冷暖房設備設置は必要である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の学習環境の改善を進めることが出来た。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算に基づく発注を実施しているため、改善の余地は余りない。なお、事業全体の整備方法、方針等は検討した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎の改修、避難所の機能向上、児童の生活環境を確保するもので公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各種の要望も出ており、本事業の必要性、有効性は大変高いと考える。よって早々に全小学校の整備を進める必要がある。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を聞いたうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校管理諸費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・庶務班		
									電話番号	443-1442	内線	2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 学校配当 )						実施根拠	八街市小学校設置条例			
	直接の対象者 (〜に対して)	全市立小学校児童						最終的な受益者	市民			
事業目的 (〜という状態にするために)	・小学校運営に必要な人員及び需用費等の経費管理を行う。											
具体的な事業内容 (〜を行う)	・小学校用務員の雇用管理に関する事務を行う。 ・小学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)9校分	千円	13,293	12,846	12,616	11,406				
		2	需用費(光熱水費)9校分	千円	36,312	38,844	38,032	47,606				
		3	役務費(通信運搬費)9校分	千円	3,538	3,376	3,551	3,202				
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	80,750	72,751	79,469	69,800					
	決算額		千円	70,552	72,275	72,999						
		特定・その他財源( )	千円	1,085	1,085	1,254						
		一般財源	千円	69,467	71,190	71,745						
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		共済費	2,533	役務費	4,701							
		賃金	10,302									
		需用費	53,504									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校運営に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならない。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。				

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校施設維持管理費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・施設班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2355
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	<a href="mailto:kvousou@city.yachimata.lg.jp">kvousou@city.yachimata.lg.jp</a>		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者 (～に対して)	小学校						最終的な受益者	小学生・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容 (～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	34	32	32	32				
		2	学校施設の修繕契約数	件	85	71	84	84				
		3	各種検査、調査等の契約数	件	4	4	3	3				
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	15	16	17	17				
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	21,406	21,164	28,599	27,028				
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	5,730	4,888	5,393	5,400				
		3	各種検査、調査等の実施	千円	569	490	353	365				
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	4,139	3,255	3,742	3,342				
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。											
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	33,072	30,162	42,531	36,135					
	決算額		千円	31,844	29,797	38,087						
		特定・その他財源( )	千円									
		一般財源	千円	31,844	29,797	38,087						
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	6,209	使用料及び賃借料	5,335							
		役務費	353	備品購入費	2,926							
		委託料	23,264									

Check 事務事業の評価							
区分	一次評価	判定理由		二次評価			
		必要性	市民からのニーズは高いですか		a	施設の経年劣化により、学校からの要望は多く、学校施設の適正な維持管理のため必要である。	A
	市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が実施する事業である。				
有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。	B			
効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費の削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。	A			
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A		
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。	A			
外部評価							
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A			
			評価者 2	A			
Action 今後の事務事業の方向							
2年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを検討し、経費の節減を図る。(例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。)</li> <li>消火器(全校)の賃借については、平成27年度から8年間のリース、またAED(全校)令和元年から6年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。</li> <li>小学校の便所が老朽化しているため、トイレ洗浄殺菌装置等を賃貸借し、衛生面及び環境面の向上を図る。</li> <li>平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き令和2年度も測定を行う。</li> </ul>						
事務事業の今後の方向性	取り組み方向						
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。</li> </ul>						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校施設整備事業費						部 局		教育委員会	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実					
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校施設の整備	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )				実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者 (～に対して)		中学校						最終的な受益者		中学生・教職員	
事業目的 (～という状態にするために)		・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。									
具体的な事業内容 (～を行う)		・学校施設の改修、設備の交換等を行う。									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目							
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)			
		事業の実績		1	工事請負契約数	件	18	14	8	10	
				2							
事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円	27,516	15,326	7,820	11,920			
		2									
事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから改修、整備を行い良好な学校環境の整備に務めた。</li> <li>・限りある予算の中で、施設の維持管理工事を発注した。</li> <li>・RIの主な工事として、八街市立中学校防火シャッター改修工事等を実施した。</li> </ul>									
④ 事業コスト		区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)			
		(最終)予算額		千円	27,516	21,249	7,885	11,920			
		決算額		千円	27,516	15,326	7,820				
				特定・その他財源( )	千円	14,200	4,264				
		一般財源	千円	13,316	11,062	7,820					
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		工事請負費 7,820									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要がある。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設維持管理工事(4,500千円)は、緊急性・危険性・必要性を考慮して実施していく。</li> <li>枠外要求の八街中学校特別教室棟屋上防水改修工事、八街中央中学校武道場軒天改修工事は適時適切な工事を実施していく。</li> </ul>				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。</li> </ul>			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

## 教育委員会の事務事業評価シート

## 【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		中学校施設整備事業費(明許繰越分)						部 局		教育委員会			
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想				所管課等		課等・班		教育総務課・施設班	
		実施計画		実施計画						電話番号		443-1442	
		(八街市総合計画) 2015		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				E-mail		kvousou@city.yachimata.lg.jp	
		実施方法		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				E-mail		kvousou@city.yachimata.lg.jp	
実施方法		具体的施策		学校教育の充実				E-mail		kvousou@city.yachimata.lg.jp			
実施方法		■ 直接実施		■ 業務委託		□ 補助金交付		実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者(～に対して)		中学校		□ 負担金		□ その他 ( )		最終的な受益者		中学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)		事業目的		・施設設備等の改修工事を行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。									
具体的な事業内容(～を行う)		具体的な事業内容		・学校施設の改修、設備の交換等を行う。									
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位		29年度		30年度		元年度		2年度(目標)	
		事業の実績		1		工事請負契約数		件				1	
		事業の効果		1		施設設備の改修工事の実施		千円				5,898	
		事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・八街北中学校プールろ過装置交換工事を実施した。											
④ 事業コスト		区分		単位		29年度		30年度		元年度		2年度(目標)	
		(最終)予算額		千円						5,898			
		決算額		千円						5,898			
		特定・その他財源( )		千円						4,400			
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		一般財源		千円						1,498			
		工事請負費		5,898									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、学校からの改修要望等は多くなっていることから、学校施設の適正な維持管理をする必要性がある。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事等において、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施しており、おおむね要望に対応することができた。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、学習環境の整備を図る必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		中学校空調設備整備事業費(明許繰越分)						部 局		教育委員会			
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
		(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実							
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校施設の整備			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針					
直接の対象者(〜に対して)		中学校				最終的な受益者		中学生・教職員					
事業目的(〜という状態にするために)		・中学校に空調設備を設置し、生徒の教育環境の向上を図る。											
具体的な事業内容(〜を行う)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1 市立中学校の空調設備設置工事設計業務の委託を行う。</li> <li>・R1 市立中学校の空調設備設置工事を行う</li> <li>・R1 市立中学校の空調設備設置工事監理業務を行う。</li> </ul>											
②		市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・八街市教職員組合・八街市小中学校校長会から空調設備の設置要望がある。</li> <li>・議会の一般質問にて、教室への空調設備の設置要望がある。</li> </ul>							
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果		区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
		事業の実績		1	工事請負契約数	件	0	0	2				
				2	業務委託契約数	件	0	0	4				
		事業の効果		1	施設設備の改修工事の実施	千円	0	0	575,740				
2	設計及び監理業務の実施			千円	0	0	26,474						
3	工事に伴う消耗品			千円	0	0	289						
事業効果に関する外部要因		・良好な教育環境の施設整備が求めており、各方面から強く要望されているため、事業計画、整備手法等の検討が必要である。											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		・R1未整備であった全4校の空調設備を整備し事業を完了した。											
④ 事業コスト		区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
		(最終)予算額		千円			819,061						
		決算額		千円			602,503						
				特定・その他財源( )	千円			597,065					
		一般財源	千円			5,438							
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費		289		委託料		26,474		工事請負費		575,740	

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	近年の夏は猛暑続きであり、児童の学習環境の改善からも冷暖房設備設置は必要である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の学習環境の改善を進めることが出来た。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算に基づく発注を実施しているため、改善の余地は余りない。なお、事業全体の整備方法、方針等は検討した。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎の改修、避難所の機能向上、児童の生活環境を確保するもので公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各種の要望も出ており、本事業の必要性、有効性は大変高いと考える。よって早々に全小学校の整備を進める必要がある。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校管理諸費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・庶務班		
									電話番号	443-1442	内線	2353
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 学校配当 )						実施根拠	八街市中学校設置条例			
	直接の対象者 (～に対して)	全市立中学校生徒						最終的な受益者	市民			
事業目的 (～という状態にするために)	・中学校運営に必要な人員及び需用費等の経費管理を行う。											
具体的な事業内容 (～を行う)	・中学校用務員の雇用管理に関する事務を行う。 ・中学校事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実 績 ・ 成 果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	1	需用費(消耗品費)4校分	千円	9,421	9,014	8,944	8,131				
		2	需用費(光熱水費)4校分	千円	24,861	27,003	26,087	34,184				
		3	役務費(通信運搬費)4校分	千円	1,848	1,742	1,683	1,775				
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な学校運営に寄与した。										
④ 事 業 コ ス ト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		53,170	51,860	51,989	49,998				
	決算額		千円		47,580	50,951	50,765					
		特定・その他財源( )	千円		592	781	763					
		一般財源	千円		46,988	50,170	50,002					
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			共済費	1,543	役務費	2,373						
			賃金	6,885								
			需用費	38,983								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、学校運営を行ううえで必要な施設・設備等の経費である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校運営に必要な不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、学校生活を安定させることができた。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	学校現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	義務教育を受けるもの全てが対象である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・学校を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		・学校を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校施設維持管理費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・施設班		
									電話番号	443-1442	内線	2355
									E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	中学校						最終的な受益者	中学生・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な学校生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容(～を行う)	・学校施設の修繕、樹木の伐採、簡易専用水道管理状況検査、浄化槽法定検査等の実施。 ・校舎警備、浄化槽維持管理、貯水槽維持管理、電気工作物保守点検、給食用エレベーター・リフトの保守点検、消防設備保守点検、プール循環浄化濾過装置保守点検、樹木害虫駆除業務等の業務委託、特殊建築物定期調査業務委託、校務用コンピュータ保守管理業務委託、消火器・AED・複写機の賃借を行う。 ・学校管理用消耗品及び備品の購入。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	1	学校施設の保守管理業務委託契約数	件	18	22	18	18				
		2	学校施設の修繕契約数	件	53	52	58	58				
		3	各種検査、調査等の契約数	件	3	2	2	2				
		4	学校管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	9	11	9	9				
	事業の効果	1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	7,928	8,578	6,939	9,993				
		2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	5,253	4,481	4,457	4,500				
		3	各種検査、調査等の実施	千円	233	61	62	65				
		4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	3,210	1,743	4,273	1,354				
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。											
④事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	17,771	15,029	17,648	16,246					
	決算額		千円	16,624	14,863	15,731						
		特定・その他財源( )	千円									
		一般財源	千円	16,624	14,863	15,731						
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	5,020	使用料及び賃借料	328						
			役務費	62	原材料費	193						
			委託料	6,611	備品購入費	3,517						

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校施設の経年劣化などにより学校からの要望は多くなっている。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図るようにしている。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A	
外部評価							
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	A	
			B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない				
			C 検討の余地あり		評価者 2	A	
			D 検討の余地は大きい				
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) ・消火器(全校)については、平成27年度から8年間、AED(全校)は平成30年度から5年間のリースとし、点検の効率化及び経費の削減を図る。 ・平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き令和2年度も測定を行う。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		・生徒の安心安全な学校生活を確保するため、学校施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいりたい。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名				中学校施設改修事業費			所管課等	部 局	教育委員会		
	当該事業が該当する個別計画等				基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた			課等・班	教育総務課・施設班		
	(八街市総合計画) 2015				施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街			電話番号	443-1442	内線 2355	
					具体的施策	学校教育の充実			E-mail	kvousou@city.yachimata.lg.jp		
					実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校施設の整備	
	実施方法				<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針		
	直接の対象者 (～に対して)				中学校				最終的な受益者	中学生・教職員		
	事業目的 (～という状態にするために)				・老朽化した学校施設・設備について、耐震化を含め計画的な改修を行い、生徒の安全確保および学校生活環境の向上を図る。							
	具体的な事業内容 (～を行う)				・八街中学校の避難階段設置工事等と監理業務を行う。(H28,29) ・八街北中学校の空調設備改修工事を行う。(H29) ・八街中学校屋内運動場における天井等の非構造部材耐震化の調査設計業務委託を行う。(H30) ・調査に基づき、八街中学校屋内運動場の非構造部材耐震改修工事を行う。(R1) ・八街南中学校屋内運動場の屋根、床改修等の調査設計業務を行う。(R1)							
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目	・生徒の学校生活環境の向上を図るために。 ・議会の一般質問にて、教室への空調設備の設置要望がある。							
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分			単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	2	0	2	1				
		2	業務委託契約数	件	0	1	4	1				
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	9,044	0	229,757	152,240				
		2	設計及び監理業務の実施	千円	0	1,755	8,626	1,703				
		3	工事に伴う消耗品	千円	0	0	0	237				
	事業効果に関する外部要因		・避難所である屋内運動場の天井等の非構造部材について、早期に耐震化を完了するよう文部科学省より強く要望されている。									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・八街南中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(H28) ・八街中学校の避難階段設置工事等を実施した。(H28,29) ・八街北中学校空調設備改修工事を実施した(H29) ・八街中学校の屋内運動場における天井等の非構造部材耐震改修工事を実施した。(R1)										
④ 事業コスト	区分			単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額			千円	9,306	4,200	292,768	154,180				
	決算額				千円	9,044	1,755	238,383				
		特定・その他財源( )			千円	4,500	0	237,071				
	一般財源			千円	4,544	1,755	1,312					
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)				需用費	0							
				委託料	8,626							
				工事請負費	229,757							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設の老朽化に伴い、耐震性のない校舎等があり生徒の安全を確保するため、早急に耐震改修を実施する必要がある。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立学校であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・耐震改修工事を実施することにより、生徒の安全が確保できる。 ・浄化槽改修工事を実施することにより、排水基準を確保できる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はあまり無い。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	耐震性のない校舎を改修するもので公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	・施設の老朽化により、耐震性のない校舎等や非構造部材は早急に耐震改修し、生徒の安全を確保しなければならない。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・八街南中学校の屋内運動場における屋根、アリーナ床、便所等の改修工事を行う。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・屋内運動場の非構造部材の耐震改修は、生徒の安全確保と避難所という観点から早急に実施することが重要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		幼稚園施設整備事業費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	教育総務課・施設班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1442	内線	2355
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	<a href="mailto:kvousou@city.yachimata.lg.jp">kvousou@city.yachimata.lg.jp</a>		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	幼稚園教育の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
	直接の対象者(～に対して)	幼稚園						最終的な受益者	幼稚園児・教職員			
事業目的(～という状態にするために)	・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。											
具体的な事業内容(～を行う)	・幼稚園施設の改修工事等を行う。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	1	工事請負契約数	件	4	2	2					
		2										
	事業の効果	1	施設設備の改修工事の実施	千円	1,230	2,835	831					
		2										
	事業効果に関する外部要因	・施設設備の老朽化に伴い実施しなければならない改修工事箇所が増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高い改修工事等の実施に努めた。											
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円		1,284	2,857	832					
	決算額		千円		1,229	2,835	831					
		特定・その他財源( )	千円									
		一般財源	千円		1,229	2,835	831					
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			工事請負費 831									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な改修工事などにおいて、優先度の高い改修工事に対応することができた。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	積算時の経済設計にあたっては、ランニングコスト等を考慮し、効率的な改修に努めており、改善の余地はない。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、学校間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	幼稚園施設の適正な維持管理を恒久的に続けていかなければならない。施設の老朽化により修繕要望は増えているが、緊急性に配慮しつつおおむね適切な維持管理がされている。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・施設設備の老朽化が進んでいることから、計画的な改修を実施するとともに、大規模な改修工事も検討し、幼稚園環境の整備を図る必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名	幼稚園諸費								所管課等	部 局	教育委員会		
										課等・班	教育総務課・庶務班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							電話番号	443-1442	内線	2353
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							E-mail	<a href="mailto:kvousou@city.yachimata.lg.jp">kvousou@city.yachimata.lg.jp</a>		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	幼児教育の充実										
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	幼稚園教育の充実						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (幼稚園配当)							実施根拠	八街市幼稚園設置条例				
直接の対象者 (～に対して)	全市立幼稚園園児							最終的な受益者	市民				
事業目的 (～という状態にするために)	・幼稚園運営に必要な人員及び需用費等の経費管理を行う。												
具体的な事業内容 (～を行う)	・幼稚園教諭・特別支援員(臨時職員)の雇用管理に関する事務を行う。 ・幼稚園事務用消耗品・光熱水費・通信運搬費等の管理、支払い等に関する事務を行う。												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	事業の実績	1	臨時職員賃金	千円	7,340	8,253	9,766	0					
		2	需用費(消耗品費)3園分	千円	1,412	1,404	1,307	1,218					
		3	需用費(光熱水費)3園分	千円	4,008	3,928	4,041	4,281					
	事業の効果												
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	・施設・設備等の維持管理を含め、円滑な幼稚園運営に寄与した。												
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	15,980	16,941	24,023	7,195						
	決算額		千円	15,297	16,210	17,913							
		特定・その他財源( )	千円	806	492	727							
		一般財源	千円	14,491	15,718	17,186							
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		共済費	1,472	役務費	670								
		賃金	9,766										
		需用費	5,728										

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	教育に対する関心の高まりもあり、幼稚園運営をするうえで必要な施設・設備等の経費である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	幼稚園運営に必要不可欠な臨時職員・需用費・公共料金等を確保しなければならないため。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	必要な経費を確保することにより、幼稚園生活を安定させることができた。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	幼稚園現場において、経費の節減に努めるように依頼をし、実施してもらっている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	幼稚園教育を受けるもの全てが対象である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の老朽化に伴い、需用費等の必要な経費が増加する傾向にある。また、電気料金・燃料費等の価格の変動に伴い必要額を把握することが難しい。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・幼稚園を運営するうえで、必要な経費のみを計上し、更なる経費の節減に努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		・幼稚園を円滑に運営できるよう、必要な経費の確保に努める。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		幼稚園施設維持管理費						部 局		教育委員会	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		(八街市総合計画) 2015		具体的施策		幼児教育の充実					
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		幼稚園教育の充実	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				実施根拠		公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針			
直接の対象者 (～に対して)		幼稚園				最終的な受益者		幼稚園児・教職員			
事業目的 (～という状態にするために)		・施設設備等の維持管理を適正に行い、良好な幼稚園生活を過ごせるようにする。									
具体的な事業内容 (～を行う)		・施設の修繕、樹木の伐採、浄化槽法定検査等を実施する。 ・園舎警備、浄化槽維持管理、受水槽維持管理、消防設備保守点検、樹木害虫駆除業務、遊具点検業務の委託業務及び送迎用駐車場・AED・複写機の賃借を行う。 ・幼稚園管理用消耗品及び備品の購入。									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)			
		事業の実績		1	幼稚園施設の保守管理業務委託契約数	件	13	15	15	15	
				2	幼稚園施設の修繕契約数	件	14	20	21	21	
				3	各種検査、調査等の契約数	件	1	1	1	1	
				4	幼稚園管理用備品(消耗品を含む)購入契約数	件	2	6	1	1	
		事業の効果		1	業務委託による適正な維持管理の実施	千円	3,144	3,144	4,888	3,621	
				2	修繕等による施設設備の適切な機能の維持確保	千円	838	1,188	1,199	1,200	
				3	各種検査、調査等の実施	千円	22	22	22	22	
				4	管理用備品(消耗品を含む)の購入	千円	681	764	521	599	
		事業効果に関する外部要因		・施設設備の老朽化に伴う修繕等の増加により、適正な環境保全の要望が多い状況になっている。							
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・危険度、緊急度、必要性を考慮し、優先度の高いものから修繕、整備に努めた。 ・物品についても耐用年数・老朽化度を考慮し、必要なものを購入した。 ・平成23年度から引き続き、東日本大震災に伴う、福島第一原発の事故による大気中の放射線量測定を実施した。									
④ 事業コスト		区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)			
		(最終)予算額		千円	4,710	5,451	6,891	5,442			
		決算額		千円	4,685	5,118	6,629				
				特定・その他財源( )	千円						
		一般財源		千円	4,685	5,118	6,629				
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	1,199	使用料及び賃借料	1,448						
		役務費	22	備品購入費	521						
		委託料	3,439								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	園施設の経年劣化などにより、幼稚園からの要望は多くなっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	市立幼稚園であり、市が行う事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	必要不可欠な修繕、定期的な部品の交換・補修などにおいて、優先度を考慮して経費の節減を図りながら実施し、おおむね要望に対応することができた。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	同種の業務などについては、幼・小・中学校で一括して発注し経費を削減を図るとともに、軽易な修繕については小規模工事登録業者へ発注し、地元業者育成にも配慮しつつ効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性に配慮し、幼稚園間の調整を行いながら実施しており、おおむね公平性は確保されている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設の経年による修繕等必要な箇所は増えているが、緊急性を考慮しおおむね適正な維持管理が実施されている。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・技術の進歩にあわせ、ランニングコストを削減できる新製品の導入などを行い、経費の節減を図る。 (例:照明器具をLEDなどの省エネ型に交換する。又は改修工事の際、全面的な更新をするなど。) ・平成23年5月から大気中の放射線量を測定しているが、引き続き令和2年度も測定を行う。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		・園児の安心安全な園生活を確保するため、施設の定期的な保守点検、修繕、機器の交換等は必要不可欠であり、限られた予算の中で、効率的で先進的な維持管理を図ってまいります。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	教育指導諸費						部 局	教育委員会		
	(八街市総合計画) 2015	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				所管課等	課等・班	学校教育課・指導室	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号		443-1446	内線	2365
		具体的施策	学校教育の充実				E-mail		gakkvo@city.yachimata.chiba.jp		
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		教育支援センターの充実		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )					実施根拠	学校教育法 八街市一般職の臨時職員等の任用等に関する規則			
	直接の対象者 (～に対して)	幼稚園・小・中学校教職員					最終的な受益者	市民			
	事業目的 (～という状態にするために)	充実した学校生活や学習支援を実現し、より開かれた園や学校づくりを推進していくために、カウンセラーを雇用し、相談体制の充実を図るとともに、学校評議員制度を活かした意見聴取や情報交換等を各園、各学校で展開する。									
	具体的な事業内容 (～を行う)	カウンセラーによるカウンセリングを行う。 カウンセラーの小学校への巡回相談を行う。 カウンセラーによる学校職員に対する研修会を行う。 学校評議員会議の開催									
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	カウンセラーによるカウンセリング		件数	161	131	187	250			
		カウンセラーの小学校巡回相談		回	12	12	34	40			
		学校評議員会議の開催		回	3	3	3	3			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因	H25年度からカウンセラーの小学校巡回相談実施 R元年度八街市教育センター「教育相談研修」にて講師として活用										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	カウンセリング件数は昨年度に比べて増加した。巡回相談等を通して問題の早期発見に努めている。また、八街市教育センターの研修でカウンセラーが講師を務め、学校職員等に広く周知したことで活用の幅が広がった。相談件数が徐々に増え、問題を抱えている児童・生徒・保護者の状態は好転している。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	52,929	56,328	58,911	4,004				
	決算額			千円	51,814	55,026	56,771				
		特定・その他財源( )	千円	4,871	5,419	5,538					
	一般財源	千円	46,943	49,607	51,233						
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	36	報償費	292	役務費	82			
			共済費	11,208	旅費	114	備品購入費	1,785			
			賃金	40,343	需用費	1,452	負担金	1,459			

Check 事務事業の評価										
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由				二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各学校からのカウンセリングの問い合わせや電話による教育相談の状況や、学校評議員による学校運営への提言が開かれた学校という安心感を生み、市民からのニーズは高い。				A		
		市の関与は妥当ですか	a	カウンセリングについては学校では相談しづらいケースもあり、学校評議員による学校運営への提言は客観性があり、不可欠である。						
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	カウンセリングについては継続した関わりの中で、児童生徒の安定を目指している。また、学校評議員による学校運営への提言によって望ましい変容を生み出している。				B		
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	カウンセリングに関しては、即効性があるわけではないが、学校や関係諸機関と支援の方向性を連携することにより、効率を高めるよう努めている。学校評議員による活動は、限られた回数の中で目標が達成できるよう努めている。				B		
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内の教育相談体制や教育条件、環境の整備の向上に結び付く事業であり、公平性に問題はない。				A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	学校運営を向上させていくために、幼児児童生徒の個々のニーズに対応するため、さらに効率性に努めていく。				B		
外部評価										
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい				評価者 1	B		
							評価者 2	B		
Action 今後の事務事業の方向										
⑥	2年度における取組のPRと方向性	平成28年度からカウンセラーに関する業務は、教育支援センター費へ移行。学校評議員委員の提言については、学校運営に更に生かしていくように努めていく。								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
		カウンセリングのニーズは、年々高くなっている。各家庭の環境も様々であり、心理的な側面とともに福祉的側面での関わりも必要である。教育委員会では、小学校に新たに校内適応指導教室を設置し、学習指導及び相談体制の構築に更に努めていく。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		外国語指導助手事業費						部 局	教育委員会			
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・指導室	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線	2363
		(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.chiba.jp	
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	英語教育の充実				
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )				実施根拠	学校教育法施行規則 学習指導要領					
直接の対象者(～に対して)		市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒が対象						最終的な受益者	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校の全幼児・園児・児童・生徒			
事業目的(～という状態にするために)		八街市の幼児・園児・児童・生徒の国際理解教育の進展、小学校低学年における異文化理解の進展、小学校高学年における小学校外国語活動の推進、中学校における英語の基礎力の確立を図る。										
具体的な事業内容(～を行う)		市内各小中学校へのALTの派遣 市内各幼稚園、保育園の行事への派遣 市内国際交流イベントへの参画 市内各校の異文化教育のための環境整備										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目	各学校から授業担当時数の確保の要望									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	小・中学校へのALTの派遣		人	5	9	9	9				
		各幼稚園への派遣		回	3	3	3	3				
		各保育園への派遣		回	3	3	3	3				
	事業の効果	英語に関する興味関心の高まり										
		異文化に対する理解の深まり										
		英語の能力の向上										
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)		ALTの授業を実施することにより、子どもたちの英語の質的な向上やコミュニケーション能力が高まった(各種テストによるスピーキング得点の向上が確認できた)。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	16,200	37,390	38,017	41,229					
	決算額			千円	16,200	37,389	38,017					
		特定・その他財源( )	千円									
	一般財源	千円	16,200	37,389	38,017							
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		委託料	38,017									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	2017年4月から、小学校3～6年生の英語授業の教科化の流れがスタートし、2020年からは小学校5～6年生が完全に教科化される。市民の英語授業への期待はますます高まっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	外国語活動及び英語の授業は学習指導要領にも記載され必修となっている。ALTについて他市町では直接雇用をしているところもあり、市の関与は妥当であると考えられる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	英語での会話力やコミュニケーション能力が高まっている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	民間会社への業務委託を行っている。契約金額も妥当である。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各学校へ均等に派遣できるように配置計画をしているので、受益が偏ることはない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	小学校における英語の授業導入から4年目を迎える。外国語活動、特に英語学習への関心は新聞等でも度々特集が組まれるほど高まっている。今後も本事業を継続するとともに、必要に応じて拡充していく必要がある。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	市内全ての教室にALTを伴う授業が実現できている。また、ほとんどのALTが数年越しの市内勤務となるため、教職員との関係も良好且つ、新しい企画の交流授業や教員研修を行うなどの実践ができています。2年度は全児童生徒に1対1の対面形式のインタビュー授業を実施する予定である。				
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		英語学習への関心は年々高まっている。英語における児童生徒へのきめ細かい指導、会話力・コミュニケーション能力のを向上させていくためには、今後も本事業を継続していく必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価

## 教育委員会の事務事業評価シート

## 【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	教育支援センター管理運営費						部 局	教育委員会		
	(八街市総合計画) 2015	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				所管課等	課等・班	学校教育課・指導室	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号		443-1446	内線	2365
		具体的施策	学校教育の充実				E-mail		gakkvo@city.yachimata.chiba.jp		
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		教育支援センターの充実		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					実施根拠	学校教育法 八街市教育支援センターの設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (～に対して)	全児童生徒、全保護者					最終的な受益者	市民			
	事業目的 (～という状態にするために)	学校に登校できなくなった児童生徒の居場所を作り、心を安定させ学校に復帰させるために適応指導教室を設置し、学習支援や教育相談活動を行う。									
	具体的な事業内容 (～を行う)	不登校児童生徒の居場所を確保するとともに、学習支援やスキル学習、教育相談を行うとともに、学校、保護者と連携し児童生徒の成長を支援する。									
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	適応指導教室利用者	人	10	7	15	15				
		カウンセラーによるカウンセリング	件数	161	131	187	250				
		カウンセラーの小学校巡回相談	回	12	10	34	40				
	事業の効果	学校復帰児童生徒数	人	6	3	5	8				
事業効果に関する外部要因	29年度から中学生は自転車通学可とした。令和元年度からカウンセラーを変更。7月に保護者面談を実施した。通所児童生徒に対してソーシャルスキルトレーニングを行った。学校と積極的な連携をとるため、ケース会議等話をする機会を設けた。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	通所している児童・生徒については、少しずつ通所できる時間が長くなったり、学校へ登校することができた。学校復帰に向けての取り組みの成果は、年度内に学校復帰した人数の他、卒業生5名が定時制高校や通信制高等学校等への進路決定ができたことにも現れている。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	12,090	12,213	12,131	515				
	決算額		千円	11,993	12,035	10,420					
		特定・その他財源( )	千円	7,415	7,537	6,959					
		一般財源	千円	4,578	4,498	3,461					
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬	5,460	報償費	5					
		共済費	1,594	需用費	224						
		賃金	2,955	役務費	182						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本市の長欠不登校児童生徒の支援については喫緊の課題であり、そのニーズは年々増加している。		A
		市の関与は妥当ですか	a	不登校児童生徒へ支援や未然防止は、将来の引きこもりを防止することとなり、市の財政に寄与するもので、必要である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	学校復帰も平成24年度は増加しており、卒業後の進路も全員が決まる等、効果が得られている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	すでに臨時職員で対応しており、コストの削減に努めている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	不登校になる原因は多様化している。教育支援センターの維持は、全児童生徒・保護者の権利を確保することとなる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	八街市における本事業は、必要性与有効性を持っている。コストの削減に努めながらも充実した支援事業に努めていく。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	本年度は、家庭訪問担当学校教育相談員及びカウンセラー、電話相談員等市の人材を活用し、各小中学校との連携を密にして、不登校児童生徒の支援に努めていく。幼児・児童・生徒個々のニーズにさらに対応できるようにするため、平成25年度から小学校の巡回相談を行い、より活用を広げるとともに、PRに努める。なお、平成28年度からカウンセラーに関する業務を教育指導諸費より移行。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了  学習及び進路指導について、必要と思われる教材・資料及び、施設設備について、コスト削減に努めながらも予算措置を要望し、充実した支援を行っていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	教育センター運営費						所管課等	部 局	教育委員会		
	(八街市総合計画) 2015	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				課等・班	学校教育課・指導室			
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線	2362
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.chiba.jp		
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	教育センター運営の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	学校教育法 八街市教育センターの設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (～に対して)	幼稚園・小・中学校教職員						最終的な受益者	市内園児・児童・生徒			
	事業目的 (～という状態にするために)	教職員の指導力及び資質を向上させ、たくましく生きる力を持った園児・児童生徒の育成に努める。										
	具体的な事業内容 (～を行う)	学級経営・学習指導、教務主任、研究主任、学年主任、若年層教員や講師、教育相談、ケース会議、特別支援教育、プログラミング教育・情報モラル育成、道徳指導法、小学校外国語活動の領域について研修会を実施する。また、中学校群研修会、教務主任優良校研修視察、八街市教育講演会を実施する。研究指定を中学校区で行う。交進小学校敷地内新校舎を活用して教育センターを独立し、研修体制及び研修支援センターとしてのはたらきを強化する。										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	研修等実施数	回	21	24	24	24					
		講演会開催数	回	1	1	1	1					
		研究指定	校	3校区・二州小	3校区	3校区	3校区					
	事業の効果											
事業効果に関する外部要因	他市町村も夏季休業中を中心に研修会を実施している。学校群研修会は、本市独自のものです。											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	研修会及び講演会の実施により、教職員の指導方法に工夫や改善が見られるようになり、児童生徒の授業アンケートから分かりやすい授業や興味関心を高められる学習活動に対して、肯定的な回答が得られるようになってきた。											
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	令和元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	2,288	2,140	2,056	1,353					
	決算額		千円	2,141	1,921	1,735						
		特定・その他財源( )	千円	205	202	185						
		一般財源	千円	1,936	1,719	1,550						
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		共済費	377	需用費	76							
		賃金	1,242									
		報償費	40									

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	各園、各校におけるアンケートや保護者等による評価から、一層の学力向上、学校改善に対する関心や要望は高い。	A
		市の関与は妥当ですか	a	若年層教職員も増え、業務改善にも取り組む必要がある中、資質向上と授業力アップについて、個人の研修だけでは目標を達成しにくいところがある。全市を上げての取り組みは必要かつ妥当である。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	千葉県標準学力テストの結果に僅かではあるが向上が見られるとともに、魅力的な学校づくりに教職員の研修が活かされている。	A
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	教職員の異動や状況により、研修内容や取り組みの方法等に柔軟な対応が求められるため、効率性の追求にあたっては慎重を要する。	B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 研修会には、学校の実情で1校から最低1名参加し、その効果は市内の園児・児童生徒に反映されると考えられ、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	教育公務員特例法に「教員はその職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない」とある。教員の資質を高めるためには、継続して研修を実施する必要がある。	A
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
				評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	2年度における取組のPRと方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育センター独立に伴い、教職員が研修しやすい環境の整備、ならびに研修支援センターとしての役割を一層充実させる。</li> <li>集合型研修だけでなく、遠隔会議システムを活用して、北海道教育大学や千葉工業大学などを結んだ講演会等、新たな研修の方法で開催する。</li> <li>ホームページの容量増加をはかり、各学校の情報発信の支援と管理を行う。また、動画等の配信についてもシステムを構築する。</li> <li>教育センターだより、ホームページの充実などを通して、市内の学校の支援にかかる情報提供をより一層充実させる。</li> </ul>			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 各学校における教育活動及び研修による教職員の指導力向上のため最低限の予算措置、継続しての研修が必要である。令和2年度から、学校教育課主幹兼教育センター所長の増員をしていただき、教員のより一層の支援をはかることができるので、さらに専任指導主事の増員、専任職員の配置等を通して、機関としての教育センターの機能強化を図る。今年度から有料のクラウド型ホームページにグレードアップできたので、充実したページになるよう各校のHP支援体制を強化する。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を伺ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
①事務事業の概要	事務事業名	育て八街っ子推進事業費						所管課等	部 局	教育委員会	
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				課等・班		学校教育課・指導室		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号		443-1446	内線	2361
		具体的施策	学校教育の充実				E-mail		gakkvo@city.yachimata.chiba.jp		
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	連携教育の推進				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者 (〜に対して)	教職員及び児童生徒						最終的な受益者			
事業目的 (〜という状態にするために)	園児・児童生徒の生活の安定と健全育成をめざして、八街市における連携教育の在り方について研究し実践する。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	1 学力向上のために授業改善を推進する。 2 継続的な連携指導項目の徹底指導を推進する。 3 学校と家庭、地域社会との連携を強化する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	中学校区の連携教育プランの策定と実施	回	3	3	3	3				
		連携教育アンケートの考察	回	1	0	0	0				
		連携教育リーフレット作成と活用	回	1	1	1	1				
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		継続的な取り組みにより、学力向上の兆しが見られ、不登校児童生徒の出現率の減少傾向が確認できた。また、家庭学習の習慣化など保護者の意識の変容もみられている。									
④事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	356	307	291	291				
	決算額	特定・その他財源( )	千円	283	249	208					
		一般財源	千円	283	249	208					
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	69							
		使用料及び賃借料	139								

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	「やちまた教育の日」の反響等から考えて、幼稚園や小・中学校で安心して生活し学ぶことができることへの市民のニーズは高まっている。		B	
		市の関与は妥当ですか	b	市内保育園、公立幼稚園及び小・中学校の効果的な連携を推進するために、全市をあげての取り組みは必要かつ妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	推進会議の開催や各実践から目標とする連携教育の在り方に近づきつつあるが、各園や学校間の活動を調整したり、広く市民のニーズに対応した実践を展開するために、一層の検討も求められる。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	達成目標に向けて事業内容の見直しや方策の改善を進め、効率性の向上に取り組んでいく必要がある。		B	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全体の教育条件及び教育環境の整備と向上に結びつく事業であり、公平性が維持できる。	A	
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	園児、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と学力向上のために、本事業の継続的な推進は必要な取り組みである。本事業の中核である連携教育は、その内容の修正や改善を図りながら一層の充実を目指すものである。		B	
外部評価							
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	B		
				評価者 2	B		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	2年度における取組のPRと方向性	「学力向上」を目標とした「継続指導共通6項目」、「情報発信」の重視を今年度の重点とする。「落ち着いた園・学校生活の実現と、将来に夢を抱いて生活を送る」ことが学力向上につながることを施策の中心に置く。幼小中高連携を一層推進していく過程の中で、市内の園児及び児童生徒の生活安定と健全育成を図っていく。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		会議の開催や、実践記録の作成に継続して取り組むことで、成果の検証や改善点を明らかにし、次年度以降の本事業の発展につなげる。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	教育支援体制整備事業費							所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	学校教育課・指導室	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					電話番号	443-1446	内線	2364
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街					E-mail	gakkvo@city.yachimata.chiba.jp		
	具体的施策	学校教育の充実									
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	特別支援教育の充実				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	学校教育法			
直接の対象者 (〜に対して)	市内保育園・幼稚園・小学校・中学校・八街高等学校						最終的な受益者	市民			
事業目的 (〜という状態にするために)	各学校より得られた児童生徒にとって有効な支援方法を次の学校へ系統的につないでいく。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	年長・小6・中3(市内進学生徒のみ)の保護者に卒園・卒業前に引き継ぎシート(保護者に園児児童生徒の生活面や学習面の状態や配慮を要する事項等を記入するシート)を記入していただき、併せて、卒園・卒業学年の担任も引継ぎシートを記入し、進学先へ渡し、必要である児童生徒については個別の指導計画を作成して支援の方法をつないでいく。また、発達障害支援アドバイザー2名により、事前に園・学校の巡回訪問を行ったり、引き継いだ後にフォローアップ訪問を行ったりして、実態把握と早期支援に努める。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
		チェックカード記入	人	1,032	973	971	940				
		研修会参加	人	31	31	31	31				
	事業の効果	引継ぎが必要な児童生徒の引継ぎ人数	人	240	300	288	200				
	事業効果に関する外部要因	通常学級における支援の必要な児童生徒の引継ぎツール不足									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	本事業も令和元年度で3年目を迎え、引き継ぎシートが浸透してきたことに加え、引き継ぎシートの見直し改良を行ったことで、記入率の割合があがった。そのため、進級前に各園、校への巡回及び要請訪問により発達障害の疑いのある幼児・児童・生徒への手立てについて教員や保護者へ理解と方向性について周知し、適切な支援方法(マザーズホームやことばの教室、病院等の外部接続など)につなげることができた。また、チェックカードや個別の指導計画など、つなぎのツールを作成・検討することができ、系統的な引継ぎの形をつくることのできた。										
④ 事業コスト	区分	単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額	千円	1,550	2,460	3,091	30					
	決算額		千円	1,518	2,169	2,135					
		特定・その他財源( )	千円	495	718	705					
		一般財源	千円	1,023	1,451	1,430					
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	共済費	355									
	賃金	1,747									
	需用費	33									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価(総括)	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	保護者の関心も高く、引き継ぎシートへの記入等の協力は非常によくやっているので、ニーズは高いと考えられる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	各校への発達障害支援コーディネーターの派遣等で、事業の中心となっているため妥当と考える。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	引継ぎシートを各校にて活用し、スクリーニングの手立てとして活用事例は徐々に上がってきている。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	引き継ぎシートや個別指導計画の作成に関して、検討をすることで、さらに効率性を高められると考える。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	支援を必要とする児童生徒についてはより効果を得られる。	B
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	保護者や先生方のニーズも高く、八街市の幼小中高連携教育にもつながる形で行っているため、さらに広めていきたい。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	2名の発達障害支援アドバイザーを雇用し、つなぎの部分での活用を図り、引き継ぎシート・個別指導計画(保護者記入・本人記入・教師記入)のツールを活用し、市内幼稚園、保育園、小学校、中学校、八街高等学校で幼児・児童・生徒の支援の引き継ぎができることが期待できる。				
	事務事業の今後の方向性	<div style="text-align: center;">取り組み方向</div> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		2名の発達障害支援アドバイザーの雇用、活用をし、引き継ぎシート、個別指導計画により市内すべての幼小中高の系統的な引継ぎを行っていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	小学校教育振興費						所管課等	部 局	教育委員会	
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				課等・班		学校教育課・指導室		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号		443-1446	内線	2363
		具体的施策	学校教育の充実				E-mail		gakkvo@city.yachimata.chiba.jp		
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	基礎的・基本的な学力の定着				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者 (～に対して)	市内小学校児童						最終的な受益者	市内小学校児童		
事業目的 (～という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、児童の興味関心を高めるとともに、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。										
具体的な事業内容 (～を行う)	ゲストティーチャーの招聘を行う。 図書の購入を行う。 各種大会出場のためのバスの借り上げを行う。 教育用コンピューターの保守業務を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
		ゲストティーチャー活用事業	回	107	96	91	160				
		児童生徒PC端末整備(GIGAスクール構想)	%				100				
	事業の効果	児童の興味・関心の向上									
		専門的な知識・技能の伝達									
		備品購入(図書)									
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図ることができた。										
④ 事業コスト	区分	単位		29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額	千円		38,522	57,562	139,990	130,665				
	決算額	千円		38,143	56,628	138,157					
		特定・その他財源( )	千円		124	116	141				
	一般財源	千円		38,019	56,512	138,016					
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	報償費	325	委託料	35,145	負担金	52					
	需用費	22,593	使用料及び賃借料	76,180							
	役務費	1,013	備品購入費	2,849							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは、教育効果を高める上で重要なことであるという認識は高まっている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	新しい学習内容に即した地域人材の活用・図書教材の購入は、学習意欲の向上・国語力の育成等において重要であり、市の関与は妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	児童の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより、児童が意欲的に学習に取り組むと考える。また、図書の購入に伴い国語における読む力の向上が期待できる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各校が教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれると考える。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各学校の教育活動を工夫・改善し、児童生徒の学習意欲を高めるために重要である。特に、児童生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	地域のゲストティーチャー活用事業を推進することで、地域の力が子どもたちの学びの力にも大きくつながっていく。また、図書の購入に伴い、国語における読む力の向上に期待ができる。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 今後も学校教育に求められるものは多岐にわたる。時代のニーズに合わせた教育活動の実践のためにも、外部人材の活用や学校図書の充実など市内各校の支援を充実させていく。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校教材備品等購入費						所管課等	部局	教育委員会		
									課等・班	学校教育課・学務班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2365
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
	具体的施策	学校教育の充実										
	実施計画	開始	2020	終了	2024	主な計画事業	学校設備・備品の充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (〜に対して)	市立小学校児童						最終的な受益者	市立小学校児童			
	事業目的 (〜という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	市立小学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	9	9	9	9					
	事業の効果	教材備品購入費	千円	3,041	1,694	1,707	1,539					
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	3,059	1,709	1,709	1,539					
	決算額		千円	3,041	1,694	1,707						
		特定・その他財源( )	千円									
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費		1,707							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		小学校理科教育振興用備品購入費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	学校教育課・学務班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線 2365
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校設備・備品の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者 (～に対して)	市立小学校児童						最終的な受益者	市立小学校児童		
事業目的 (～という状態にするために)	小学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容 (～を行う)	市立小学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	理科備品現有数	%	84.7	84.7	84.7	83.9				
	事業の効果	理科備品購入費	千円	1,128	1,126	1,130	1,017				
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各小学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		1,130	1,130	1,130	1,017			
	決算額		千円		1,128	1,126	1,130				
		特定・その他財源( )	千円		553	543	550				
		一般財源	千円		575	583	580				
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費 1,130									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全小学校に対し整備をしており、公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳により廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		小学校児童援助奨励費						部 局		教育委員会		
								課等・班		学校教育課・学務班		
								電話番号		443-1446 内線 2365		
								E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	就学における経済的援助				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	八街市要保護及び準要保護児童生徒に対する就学援助実施要綱		
		直接の対象者(〜に対して)	市内に住所を有し、経済的理由により就学が困難な児童の保護者						最終的な受益者	児童の保護者		
	事業目的(〜という状態にするために)	経済的理由により、就学が困難と認められる児童に必要な教育を受けさせるため。										
	具体的な事業内容(〜を行う)	学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、クラブ活動費等の援助を行う。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	準要保護児童認定数	人	223	230	195	200					
							(実認定数)					
	事業の効果	準要保護児童認定率	%	7.1	7.5	6.7	7.0					
							(3/31児童数)					
		事業効果に関する外部要因	不安定な雇用形態やリストラ、離婚件数の増加									
	事業効果の総合分析(達成できたこと)	経済的理由により教育の格差をなくし、円滑な学校運営にも寄与している。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	17,659	18,641	19,466	20,352					
	決算額		千円	16,964	18,639	18,206						
		特定・その他財源( )	千円	1,704	1,517	1,845						
		一般財源	千円	15,260	17,122	16,361						
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			扶助費	18,206								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の透明化・厳格化の推進が更に必要である。	B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の透明化・厳格化の推進を図る。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。基準の厳格化について、推進する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	中学校教育振興費						所管課等	部 局	教育委員会		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・指導室		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2363	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkvo@city.yachimata.chiba.jp		
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	基礎的・基本的な学力の定着					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                    )						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (〜に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者	市内中学校生徒			
	事業目的 (〜という状態にするために)	地域の教育力を取り入れ、生徒の興味関心を高めると共に、新しい学習内容に適応した教材、図書を供与するため。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	ゲストティーチャーの招聘、図書の購入、各種大会出場のための送迎用バスの借り上げを行う。また、教育用コンピュータ保守業務を行う。										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
		ゲストティーチャー活用事業	回	13	8	6	20					
		児童生徒PC端末整備(GIGAスクール構想)	%				100					
	事業の効果	生徒の興味・関心の向上										
		専門的な知識・技能の伝達										
		備品購入(図書)										
	事業効果に関する外部要因	外部人材の活用、図書の充実、コンピュータの保守業務については、市町村の状況に合わせた形で実施されている。大会への移動については、バスの保有等により様々である。										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	学校教育の中で、外部人材を活用したり、学校図書館図書の充実を図るなど、各校の実情に即した教育活動の工夫改善を図る。											
④ 事業コスト	区分	単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	(最終)予算額	千円	22,358	29,931	63,263	73,113						
	決算額	特定・その他財源( )	千円	21,872	28,958	62,252						
		一般財源	千円	21,872	28,958	62,252						
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)	報償費	64	委託料	20,043	負担金及び補助金	969					
	需用費	6,148	使用料及び賃借料	32,155								
	役務費	437	備品購入費	2,436								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学校教育が地域との連携を行う上で、地域人材を積極的に授業に取り入れていくことは重要なことと考える。		A
		市の関与は妥当ですか	a	外部人材の活用、また新しい学習内容に即した図書教材の購入は生徒の国語力を育成する上で重要と考える。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	生徒の体験的活動において、専門的な知識・技能を取り入れることにより生徒が意識的に学習に取り込むと考える。図書の購入に伴い、国語力の向上が期待できる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	市内各中学校においてが教育活動を工夫改善するために、各校の実情に即した執行をしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内各中学校において、取り組む事業であり、公平性が保たれる。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各中学校の教育活動を工夫・改善し、生徒の学習への意欲を高めるために重要である。特に生徒の読む力の育成は急務であり、事業の継続が求められる。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	ゲストティーチャーの招聘、学校図書館の図書の購入、各種大会出場のため最低限の予算措置、及び事業の実施。教育用コンピュータ保守業務を行う。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 各中学校生徒の学習意欲を高め、学力の向上のため継続して実施する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中学校教材備品等購入費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	学校教育課・学務班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線 2365
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp	
	具体的施策	学校教育の充実									
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校設備・備品の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	学校教育法		
	直接の対象者 (～に対して)	市内中学校生徒						最終的な受益者	市内中学校生徒		
事業目的 (～という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。										
具体的な事業内容 (～を行う)	市立中学校全校に対して、教材備品を購入し、整備する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	教材備品購入学校数	校	4	4	4	4				
	事業の効果	教材備品購入費	千円	2,634	1,485	1,477	1,337				
	事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする教材備品を購入し、整備した。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	2,634	1,485	1,485	1,337				
	決算額		千円	2,634	1,485	1,477					
		特定・その他財源( )	千円								
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費 1,477								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な教材備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき教材備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		中学校理科教育振興用備品購入費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	学校教育課・学務班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1446	内線	2365
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
	具体的施策	学校教育の充実										
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校設備・備品の充実					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	学校教育法			
	直接の対象者 (～に対して)	市立中学校生徒						最終的な受益者	市立中学校生徒			
事業目的 (～という状態にするために)	中学校に対して、教科指導上必要な理科備品を整備することにより、学校教育の充実を図る。											
具体的な事業内容 (～を行う)	市立中学校全校に対して、理科備品を購入し、整備する。											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	理科備品現有率	%	79.3	79.3	80.0	78.1					
	事業の効果	理科備品購入費	千円	1,015	1,020	1,015	918					
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		市内各中学校が教科指導上必要とする理科備品を購入し、整備した。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	1,020	1,020	1,020	918					
	決算額	特定・その他財源( )	千円	497	496	497						
		一般財源	千円	518	524	518						
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		備品購入費 1,015									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校教育法により、設置者が経費負担し、学習指導要領による指導内容の充実、学力向上に繋がる。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	備品台帳の活用により、現有備品の確認を行い、教科指導に必要な備品を整備している。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	限られた予算配分の中、教科指導に必要な備品を各小学校の現状に合わせて整備した。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市内全中学校に対し整備をしており、公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学習指導要領により不足している教材等を点検し、教材備品を適正に選定し整備しているが、全体的に予算不足である。今年度は、国の補助金が追加交付されたため、必要な備品が整備できた。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	市の厳しい財政上市内の小学校全校に十分な理科備品の整備が難しく、引き続き限られた予算配分の中での整備するよう努めます。また、平成24年度から1校あたりの国の基準額が下がったことにより、備品台帳による廃棄等の見直しを行い、国の補助金を活用する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了  学校教育法により、学習指導要領による指導内容に基づき理科備品を継続して整備していかなければならない。各学校の現状に併せて整備する必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を問うたうえでの評価





Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	昨今の厳しい社会情勢により保護者のリストラや離婚等により、安定した収入が得られない世帯が増加しているため、市民からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	平成24年度に要綱を制定したため、妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	教育の機会均等の見地から効果は得られている。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	認定基準の厳格化により、効率性は更に高められる。		B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全児童・生徒の保護者が対象であるが、認定基準上、少数の特定市民対が対象となっているため、基準の透明化・厳格化の推進が更に必要である。	B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	教育の機会均等を図るために、継続的な制度の周知や事務処理の工夫を充実させる必要がある。		B
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B	
				評価者 2	B	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	保護者の経済的理由による教育の格差を防止するため、学校と連携をし、制度のPRとともに児童・生徒の保護に努める。また、制度の公平性を確保するため、基準の透明化・厳格化の推進を図る。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	教育の機会均等に資するため、継続的に実施する必要がある。基準の厳格化について、推進する必要がある。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名	学校保健管理費						所管課等	部 局	教育委員会		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	学校教育課・学務班		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1446	内線 2367	
		具体的施策	学校教育の充実						E-mail	gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	健康づくりの推進					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	学校保健安全法			
	直接の対象者 (〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・教職員						最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
	事業目的 (〜という状態にするために)	・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に質する。 ・安全で衛生に配慮した学校給食の提供。 ・学校環境衛生を維持・管理し、健康的な学習環境を確保する。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	・幼稚園児、児童、生徒の健康診断・教職員健康診断・就学時健康診断・環境検査測定業務・給食補助員の配置。										
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	1	幼稚園児・児童・生徒・教職員の健康診断及び就学時健康診断	人	6,024	5,743	5,500	5,145				
		2	環境検査(水質・空気・照度等)	園 学校数	16	16	16	16				
		3	給食補助員の数	人	18	18	18	18				
	事業の効果	1	健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療	人	6,024	5,743	5,500	5,145				
		2	学校環境の衛生的な維持	園 学校数	16	16	16	16				
		3	安全で衛生に配慮した学校給食の提供	人	18	18	18	18				
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・幼稚園児、児童、生徒及び教職員の健康管理及び学校環境を衛生的に保持した。									
	④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
(最終)予算額		千円	30,556	30,261	30,540	19,076						
決算額				千円	29,959	29,822	29,612					
		特定・その他財源( )	千円									
一般財源		千円	29,959	29,822	29,612							
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		報酬	8,349	役員費	1,741							
		賃金	11,408	委託料	7,606							
		需用費	443	賃借料	65							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	健全育成や健康づくりの観点からニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準による事業のため妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	健康に対する関心が高くなり、健康教育の一環となっている。健康保持増進及び疾病の早期発見指導及び早期治療。学校環境を衛生的に維持した。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	給食補助員については、臨時職員であり、時間給対応により委託よりも安価となっている。健康診断検査等は健診専門機関へ委託。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	対象者は市立幼稚園児、児童、生徒及び学校教職員全員であるため公平である。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校保健安全法の規定及び学校環境衛生の基準にそって適正に実施している。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	各健康診断については年間計画に沿って適正に実施する。検査対象年齢の見直しを行う。未受診者の事後指導を実施する。また、労働者自身によるストレスへのセルフケアと、事業者によるストレスの要因の低減を目的としたストレスチェック制度を実施する。給食配膳室の衛生管理を徹底する。				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		学校保健安全法の改正等に留意し、適切に事業を推進する。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	学校保健諸費						所 管 課 等	部 局	教育委員会	
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				課等・班		学校教育課・学務班		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街				電話番号		443-1446	内線	2368
		具体的施策	学校教育の充実				E-mail		gakkyo@city.yachimata.chiba.jp		
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	健康づくりの推進				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					実施根拠	学校保健安全法			
	直接の対象者 (〜に対して)	幼稚園児・児童・生徒・養護教諭・保健主事					最終的な受益者	幼稚園児・児童・生徒・保護者			
	事業目的 (〜という状態にするために)	・学校管理下における児童、生徒等の災害に対し精神的、経済的負担の軽減を図る。 ・学校保健会、養護教諭会、保健主事会の健全な運営を図る。									
	具体的な事業内容 (〜を行う)	・負担金(日本スポーツ振興センター災害共済掛金、県郡学校保健会、県郡養護教諭会、県郡保健主事会)									
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分			単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)			
	事業の実績	1	日本スポーツ振興センター災害共済掛金	人	5,172	4,910	4,542	4,540			
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会負担金	千円	178	195	168	187			
	事業の効果	1	児童・生徒に対する共済給付	人	411	384	586				
		2	学校保健会・養護教諭会・保健主事会の健全な育成	千円	178	195	168	187			
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析(達成できたこと)										
	④ 事業コスト	区分			単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)		
		(最終)予算額			千円	4,857	4,636	4,463	4,248		
		決算額				千円	4,805	4,573	4,341		
特定・その他財源( )			千円								
一般財源			千円	4,805	4,573	4,341					
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			負担金 4,341								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	安心・安全な学校生活を送るため、対象者からのニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	学校管理下における児童・生徒等の災害に対し必要な事業である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	幼稚園児、児童、生徒及び保護者の精神的、経済的負担の軽減が図られる。学校保健会等の健全な運営が図られる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	月1回、学校(園)から申請のあったものを確認のうえ、遅滞なく日本スポーツ振興センターに提出しており、給付金についても適正に処理している。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	b	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	全市立幼稚園児、児童・生徒が対象であり、公平性はあるが、受益者負担はない。	B
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	安心・安全な学校生活を送るため必要性の高い事業である。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	保護者、学校、教育委員会、日本スポーツ振興センター相互の連携を密にし、申請もれ、加入もれ等が生じないよう適切に処理する。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
関係機関と連携し、適正に事業を実施する。 ケガ、事故等を未然に防ぐため、学校保健会、養護教諭、保健主事と連携し、安全教育や安全点検等を充実する。						

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名	社会教育振興費						所管課等	部 局	教育委員会		
								課等・班	社会教育課・社会教育推進班		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				E-mail	電話番号	443-1464	内線	
		施策の大綱	五の街 めざます! 心の豊かさを感じる街						shakvo@city.yachimata.lg.jp		
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯学習環境の整備・社会教育活動の推進・芸術文化の振興				実施根拠	生涯学習推進体制の確立・学習情報の収集と提供・人材バンクの登録と提供・学習機会の充実・家庭教育の支援・芸術文化事業の充実・芸術文化活動団体への支援			
		実施計画	開始	2017	終了	2019		主な計画事業			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						最終的な受益者	教育基本法、社会教育法、文化芸術基本法、八街市社会教育委員に関する条例、八街市社会教育指導員の設置等に関する規則、八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則		
直接の対象者(〜に対して)	市民						市民				
事業目的(〜という状態にするために)	社会教育委員、社会教育指導員・家庭教育指導員を委嘱し、それぞれの専門的な知見を活かし、本市の社会教育の充実を図る。また、市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会、発表会、展示会等を開催し、生涯にわたり生きがいのある生活と心がかようまちづくりを目指し、市民の学習や文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。										
具体的な事業内容(〜を行う)	1. 社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について検証や提案、教育委員会の諮問に対する答申や提言を行う。 2. 社会教育指導員による高齢者学級や生きがい短期大学への指導・助言、家庭教育指導員による家庭教育相談業務や幼・小・中学校で開催する家庭教育学級への指導・助言を行う。 3. 市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会等を開催する。 4. 八街市民音楽祭、市民文化祭、芸術作品展示会等を開催する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	生涯学習施設の整備								
		市民の楽しめる場所や施設がなく、複合施設とし、図書館、カルチャー、文化センター、フードコート等を計画してほしい。									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	事業の実績	区分	単位	29年度	30年度	元年度	令和2年度(目標)				
		1 高齢者学級の実施(自主学級)	学級数	9	9	9	9				
		2 家庭教育学級の実施	学級数	15	15	15	中止				
		3 家庭教育講演会の開催	回	1	1	1	中止				
		4 社会教育振興大会の開催	回	1	1	中止	1				
		5 輝く女性の研修会の開催	回	1	1	1	1				
		6 市民文化祭の実施	回	1	1	1	中止				
	7 市民音楽祭の実施	回	1	1	1	中止					
	事業の効果	1 高齢者学級開催数	回	60	68	51	65				
		2 家庭教育学級修了者数	人	193	191	187	中止				
3 家庭教育講演会の参加者数		人	288	320	292	中止					
4 社会教育振興大会の参加者数		人	175	189	中止	100					
5 輝く女性の研修会の参加者数		人	208	224	221	250					
6 市民文化祭の出演・出品者数		人	1,047	827	690	中止					
7 市民音楽祭の出演者・来場者数		人	702	720	736	中止					
事業効果に関する外部要因	家庭教育学級の学級生数は、児童・生徒の減少や社会状況の変化により影響を受ける。各種事業への参加者・団体の固定化や人口減、少子高齢化。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	高齢者学級・家庭教育学級に社会教育指導員・家庭教育指導員が関わることにより、目標に沿った学習計画を立て、充実した内容で学級運営を行うことができた。社会教育振興大会は、災害等で公民館の利用ができなくなり中止となった。市民文化祭、市民音楽祭、芸術作品展は、市民との協働による事業実施ができた。										
④ 事業コスト	区分	単位		29年度	30年度	元年度	令和2年度(目標)				
	(最終)予算額	千円		8,854	20,002	8,272	2,663				
	決算額	千円		8,507	7,279	7,346					
		特定・その他財源( )	千円		563	719	548				
	一般財源	千円		7,944	6,560	6,798					
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)	報酬	3,402	共済費	922	報償費	123					
	需用費	355	役務費	51	委託料	376					
	使用料及び賃借料	123	備品購入費	1,251	負担金及び補助金	743					

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の価値観が多様化する中、社会教育事業に市民ニーズを反映させるための社会教育委員、高齢者学級及び家庭教育学級を運営するための社会教育指導員及び家庭教育指導員の存在は大きい。また、生涯学習や文化芸術に関する市民の関心は高まっており、今後も市民ニーズは増大・複雑化すると思われる。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育委員、指導員は、社会教育・生涯学習を推進するため大きな役割を担っている。また、文化芸術基本法により市が地域の特性に応じた施策を実施する必要があることから、市民に文化芸術の発表・鑑賞機会を提供することは必要である。なお、市民が主役の事業については協働で開催しており、市民ニーズを踏まえた学習・発表の機会を提供することは市の責務である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	市民の意見を事業に反映させることで事業の充実が図られ、講演会や大会を開催することで市民への学習機会の提供につながっている。また、委員、指導員等の指導・助言により円滑な事業の実施に繋がり、多数の市民が文化芸術活動に参加している。		B			
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	専門知識を有する委員、指導員の指導・助言により効率的な事業の実施を図るとともに、ボランティアの活用等により経費の節減を図っている。市民が主役の行事は、協働により多くの事業を実施している。		B			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	講座等で材料費・保険料等が必要な場合は参加者の負担としている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	少子高齢化や家庭教育の重要性が注目されている現代において、社会教育委員や指導員の指導・助言のもと、地域力の向上につながる講演会や講座等を実施することができた。また、市民が主体的に参加できる事業を企画し、市民との協働により各種事業を実施することができた。今後は、参加者の固定化や減少化、会場施設の充実が課題である。		B			
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	B				
				評価者 2	B				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	家庭教育の重要性の啓発、社会教育振興大会の充実を図り、市民に社会教育の重要性を訴える。より多くの人に周知し、興味を持ち、事業に参加してもらえよう、市広報、ホームページ、メール配信等の情報媒体を活用したPRを行う。また、優れた文化芸術活動や鑑賞機会の提供を推進する。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		多岐にわたる市民の学習ニーズに応えるために、より充実した事業を展開や協働による事業の実施を推進する。また、市民文化の向上を図り、文化芸術活動の発表・鑑賞機会への参加を促す。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	青少年健全育成費						所管課等	部 局	教育委員会	
								課等・班	社会教育課・社会教育推進班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				E-mail	電話番号	443-1464	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	青少年の健全育成				地域ぐるみの育成活動・青少年健全育成事業の推進 こども110番事業の支援・青少年犯罪の防止			
		実施計画	開始	2017	終了	2019		主な計画事業		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (こども110番推進委員会)					実施根拠	社会教育法			
直接の対象者 (~に対して)	市民・こども110番推進委員会					最終的な受益者	市民			
事業目的 (~という状態にするために)	青少年教育及び啓発活動をととして市民による青少年の健全育成を推進する。 また、子どもたちに対する犯罪を未然に防ぎ、緊急避難場所の確保する。 さらに、子どもたちの調和のとれた人間形成を図るとともに市民の憩いの場を提供するため、自然体験型の学習機会を提供する。									
具体的な事業内容 (~を行う)	青少年教育事業、青少年相談員の委嘱、市民に対する啓発活動等。 協力世帯募集、看板作成支援及び協力世帯に対する保険加入による、こども110番事業の支援。 子どもと大人が一緒に行うタケノコ掘り体験施設及び市民に親しまれる施設(憩いの場)とするためのたけのこの里の維持管理。									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	青少年健全育成								
	青少年の素行改善									
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	令和2年度(目標)			
	事業の実績	1	青少年相談員主催事業の実施	事業	2	2	2	2		
		2	放課後子ども教室開設数	教室	3	3	5	5		
		3	通学合宿の実施	回	2	2	1	中止		
		4	成人式の実施	回	1	1	1	1		
		5	こども110番の家協力募集チラシ配布枚	枚	1,083	1,057	923	1,000		
		6	タケノコ掘り体験学習期間の実施日数	日	23	36	30	中止		
	事業の効果	1	夏休み交流会の参加者数	人	1,413	1,171	1,502	1,500		
		2	少年少女のつどい大会参加者数	人	26	悪天中止	46	50		
		3	放課後子ども教室参加者数	人	210	192	1,980	1,500		
		4	通学合宿の修了者数	人	35	40	20	中止		
		5	成人式の参加者数	人	591	591	572	600		
		6	こども110番の家協力世帯数	世帯	1,940	1,940	1,930	1,950		
		7	タケノコ掘り体験者数	人	428	299	303	中止		
事業効果に関する外部要因	少子化に伴う対象者数・参加者数の減少。健全育成事業及び啓発活動の実施に当たっては、青少年相談員やボランティアの協力が不可欠。こども110番事業は、市小中学校PTA連絡協議会による取り組み。 タケノコ掘りの体験学習は、タケノコの発育状況により期間を短縮せざるを得ない場合がある。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)	学校・家庭・地域の連携の下、青少年健全育成事業や啓発活動を実施し、その重要性をアピールできた。 こども110番支援事業では、事件・事故の発生時に子どもが逃げ込める場所を確保するとともに、看板を設置していただくことで、青少年への犯罪に対する抑止効果を発揮している。 たけのこの里体験学習では、子どもを含めたグループ等によるタケノコ掘りにより、自然体験や協力し合う心、親子の恰好のふれあいの場とすることができ、地域教育力や家庭教育力の向上につなげることができた。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	令和2年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	3,863	4,852	6,392	5,903			
	決算額			千円	3,588	4,569	4,847			
		特定・その他財源( )	千円	1,256	1,158	1,310				
	一般財源		千円	2,332	3,411	3,537				
令和元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	1,446	需用費	997	役務費	191		
			委託料	522	賃借料	131	工事請負費	312		
			備品購入費	719	負担金及び補助金	529				

**Check 事務事業の評価**

区分		一次評価	判定理由	二次評価
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	次代を担う青少年を健全に育成することは社会全体が必要としている。児童・生徒を凶悪犯罪から守ることは社会的な課題であり、こども110番の家制度の意義は大きい。たけのこの里は自然体験施設として利用者からは好評である。	B
	市の関与は妥当ですか	b	青少年の健全育成は社会的な課題である。学校・家庭・地域の連携を図り、市が各種施策を展開することは妥当である。ただし、たけのこの里の管理運営方法については検討を要する。	
有効性	期待された効果は得られていますか	b	青少年教育事業では、子どもたちに様々な体験活動をさせることで、青少年健全育成につなげることができた。また、こども110番支援事業では、児童・生徒に事件・事故遭遇時に避難できる場所があるという安心感を与え、犯罪の抑止効果を発揮している。たけのこの里では、体験活動がより豊かな人間性の形成や思考・理解の基盤づくりに役立つと考えるが、立地条件等から特定の市民の利用に限定される。	B
効率性	事業の効率性を高められますか	b	関係団体の協力を得ながら必要最小限の予算で各種事業を実施している。こども110番支援事業では、市PTA連絡協議会や学校と連携することで事業の効率化を図っている。なお、周知看板の交換作業等を職員が実施することで経費節減に努めている。たけのこの里管理費については、委託料の減額に伴い職員による直営作業が増大しているが、時間を割くことが困難になっている。	B
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし                 各種事業の周知は全児童・生徒を対象に行い、材料費・保険料等の実費は参加者の負担としている。たけのこの里は立地条件が偏っているが、利用に際しては教育施設(自然体験)として無料が適当と考える。	A
総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	青少年を取り巻く環境が大きく変化している現代において、青少年健全育成事業は重要であり、さらなる拡充が求められるとともに時代に対応した各種事業を展開する必要がある。こども110番支援事業では「こども110番の家」の看板掲げることによって地域の防犯意識の高さを示し、犯罪抑止効果を発揮するとともに、子どもたちが安心して登下校できる環境を提供しているが、協力世帯の伸び悩みや現状把握が課題である。タケノコ掘りは体験者には好評であるが、体験期間は短い。体験期間以外の時期の活用方法が課題である。また、市の関与のあり方に検討を要する。	B
外部評価				
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 B 評価者 2 B

**Action 今後の事務事業の方向**

2年度における取組のPRと方向性	青少年健全育成の重要性を認識するための啓発運動を実施するとともに、子どもを対象とする各種事業の周知に努める。こども110番支援事業では、各種媒体の活用や新入生がいる世帯にリーフレットを配布し、市民への周知を図る。また、協力世帯増加のための各学校におけるプレートの残数確認や、周知看板の劣化状況確認等を実施する。タケノコ掘り体験期間は放射能検査後、5月のゴールデンウィークまでの延長を行う。								
事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
	青少年健全育成の中核組織となる「八街っ子サポート連絡協議会」を中心に、学校・家庭・地域が連携した事業を展開し、事業の成果の検証を行う。こども110番の家協力世帯を拡充することにより、安全で安心なまちづくりの推進を図る。たけのこの里の維持管理では、職員による作業が増大し、効率性を欠いている。市としての活用方法を検討する必要がある。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		文化財保護費						部 局		教育委員会		
								課等・班		社会教育課・文化財班		
								電話番号		443-1464 内線 14		
								E-mail		shakyo@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
	(八街市総合計画) 2015	施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
		具体的施策	文化財の保護・継承									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	文化財保護意識啓発活動・指定文化財の拡充				
		実施方法	■ 直接実施 ■ 業務委託 ■ 補助金交付 ■ 負担金 ■ その他 (文化財ボランティアとの協働事業)						実施根拠	文化財保護法 千葉県文化財保護条例 八街市文化財保護に関する条例 外		
		直接の対象者(〜に対して)	①市民、土木工事等を行う者、文化財 ②市指定文化財所有者・管理者・保持者						最終的な受益者	市民		
	事業目的(〜という状態にするために)	市民文化向上・発展のため、文化財の保護・活用・継承を図る。										
	具体的な事業内容(〜を行う)	○指定文化財等の指定・管理・活用 ○埋蔵文化財の取扱い(照会・発掘調査等) ○各種文化財の保護 ○市指定無形民俗文化財保持者への支援 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援 ○市民へ郷土の歴史・文化を学ぶ機会の提供										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	○指定文化財等の指定・管理・活用 ○文化財ボランティアの育成及び活動支援  ・指定文化財(史跡・記念物)に関する管理等に重点を置くよう要望がある。 ・文化財ボランティアの積極的に活用するよう要望がある。									
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	28年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	出前講座の実施		回	11	11	9	5				
		文化財保護周知用立看板年間設置数		基	2	2	2	1				
		埋蔵文化財の取扱い(確認等)		件	166	162	183					
	事業の効果	出前講座の年間受講者数		人	277	268	227	114				
		文化財保護周知用立看板の総設置数		基	77	77	77	78				
各種指定文化財の保存・整備活動数		回	23	20	19	20						
事業効果に関する外部要因		・埋蔵文化財の取扱いや発掘調査等の件数は、民間の開発事業と実施箇所依存するため、年度による件数の増減は流動的となっている。 ・元年度の文化財保護周知用立看板の設置数は2基であるが、2基とも既存看板の破損、劣化による交換・修繕設置のため、総数は現状維持となっている。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		①文化財の指定に向けて整備を進めている「こえっばの弁天遺跡」について発掘調査を実施した。 ②指定文化財「御成街道跡」が台風による被害を受け、大規模な倒木処理等を実施し、被害の拡大抑止と景観保全に対応したものの、活動数については台風・コロナの影響により減少した。 ③埋蔵文化財の取扱い等について、土木工事等を実施する事業者に対し適切な指示・協議を行い、円滑に事業を推進している。 ④文化財ボランティアは、定期的な活動のみならず、史跡・指定史跡に対する講習会を実施した上で、発掘調査等にも参加していただいた。 ⑤出前講座の申込数は増加したものの、台風・コロナの影響のキャンセルにより実施回数は減少した。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	3,734	2,650	3,942	3,927					
	決算額			千円	3,354	2,092	3,608	3,927				
		特定・その他財源( )		千円			1,250	1,368				
	一般財源		千円	3,354	2,092	2,358	2,559					
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報酬	26	需用費	70	負担金及び補助金 77					
			報償費	27	委託料	3,144						
			旅費	7	賃借	257						

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	法・条例に基づく事務・調査の他、行政のみが実施可能な業務が大半である。また、郷土の歴史を知り、文化財を保護することは、国民の文化の向上・発展のために必要不可欠であるため業務の必要性は高い。	A
		市の関与は妥当ですか	a	文化財の規模等を勘案しながら実施しており、法・条例に基づく事業に関しては妥当な水準である。文化財保護事業にについては、補助金の減額や一事業に対し複数年度で段階的に実施するなど、財政状況を加味しながら対応している。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	国庫補助金等を活用した史跡整備事業において、十分な調査成果等を上げることができている。また、埋蔵文化財行政等、法・条例に基づく事業については滞りなく推進している。文化財の保存・活用事業においても、他市町との連携やボランティアの活用等により、効果的に上位施策である市民文化の継承に寄与している。	A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	出前講座・ボランティア活動支援等はわずかな消耗品費以外の支出はない。複数年度に渡る史跡整備においては市教委負担が大きくなることから、県担当者との協議を持ち、令和元年度から国・県の補助金(補助率62.5%)を導入している。	A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 多くの業務が市・県・国民の利益に繋がるものであり、公平性は極めて高い。また、埋蔵文化財行政においても原因者に対して、現場の環境整備・現状復帰・本調査費用等、応分の負担をお願いしている。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	文化財の保存・活用及び法・条例に基づく事務・調査については、予算規模を考慮しながら実施している。また、市民の文化財等に関する認知度を向上させるため、各種冊子の利用や出前講座等を実施しているが、引続き継続的な取り組みが必要である。	A
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 A 評価者 2 A	
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・複数年度にまたがり、史跡の指定に向けた調査・整備を推進中であり、令和2年度は指定予定の史跡の地形等測量及び印旛郡市文化財センターに委託した発掘調査の整理業務を実施するとともに、その後の整備事業について関係諸機関と調整を進める。また、今後、5年毎に予定している報告書の刊行に向けて、整理・公刊できる体制を整える。 ・文化財班として、課内のみならず郷土資料館と公民館、双方の事業に効果的・効率的な事業(計画)が行えるよう協力して行く。 また、文化財ボランティアにガイド等の啓蒙普及活動にも協力いただき、官民の協働で文化財の保護・普及を進める。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 ・史跡保護を目的とした発掘調査・整備等を実施しながら、指定文化財の拡充を図る。 ・埋蔵文化財の取扱い等については法・条例に基づいて進めているが、現在の体制・対応を維持できるよう、事業者等へ理解と協力を求めている。また、文化財保護については、市民の理解・認識を深めるために、文化財周知用立看板や各種講座等の普及活動を充実させ、文化財ボランティア等を活用しながら官民協働での保護意識・体制づくりを推進する。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		社会教育振興費(明許繰越分)						部 局		教育委員会		
								課等・班		社会教育課・社会教育推進班		
								電話番号		443-1464 内線		
								E-mail		shakyo@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱		五の街 めざます! 心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策		生涯学習環境の整備・社会教育活動の推進・芸術文化の振興								
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業				
		実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		教育基本法、社会教育法、文化芸術基本法、八街市社会教育委員に関する条例、八街市社会教育指導員の設置等に関する規則、八街市家庭教育指導員の設置等に関する規則
	直接の対象者(〜に対して)	市民						最終的な受益者		市民		
	事業目的(〜という状態にするために)	社会教育委員、社会教育指導員・家庭教育指導員を委嘱し、それぞれの専門的な知見を活かし、本市の社会教育の充実を図る。また、市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会、発表会、展示会等を開催し、生涯にわたり生きがいのある生活と心がかようまちづくりを目指し、市民の学習や文化芸術に対する関心を高め、市民文化の向上を図る。										
	具体的な事業内容(〜を行う)	1. 社会教育委員会議を開催し、社会教育事業について検証や提案、教育委員会の諮問に対する答申や提言を行う。 2. 社会教育指導員による高齢者学級や生きがい短期大学への指導・助言、家庭教育指導員による家庭教育相談業務や幼・小・中学校で開催する家庭教育学級への指導・助言を行う。 3. 市民を対象とした各種学級、講座、研修会、講演会等を開催する。 4. 八街市民音楽祭、市民文化祭、芸術作品展示会等を開催する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	生涯学習施設の整備									
	市民の楽しめる場所や施設がなく、複合施設とし、図書館、カルチャー、文化センター、フードコート等を計画してほしい。											
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	令和2年度(目標)					
	事業の実績	1	基本構想有識者検討会の設置	数				1				
		2	アンケート調査(ホームページ)	回				1				
		3	アンケート調査(街頭アンケート)	回				1				
		4										
		5										
		6										
		7										
	事業の効果	1	基本構想有識者検討会の設置	会議(回)				36				
		2	アンケート調査(ホームページ)	回答(件)				467				
3		アンケート調査(街頭アンケート)	回答(件)				40					
4												
5												
6												
7												
事業効果に関する外部要因		公園、文化施設等の充実させ、市民生活の豊かさ、住みやすさの向上を図る。学校教育と社会教育がそれぞれ役割分担を前提とした上で、学習の場や活動等を部分的に重ね合わせながら、一体となって教育に取り組む。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)		市民ニーズに迅速かつ適切に対応していくことを考慮し、本構想においては、20年後の建替え又は改修等について再度検討するものとする。郷土資料館については早期運用再開に向け、施設整備の代替地(公共用地又は公共施設等)の確保に努める。3館が連携した各種イベントや講座の開催などにより、幅広く施設利用者の増大を目指す。施設利用の利便性と魅力向上に向け、職員の資質向上や施設の管理運営に関する検討などを進める。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	令和2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円				6,804					
	決算額	特定・その他財源( )		千円				6,804				
		一般財源		千円				6,804				
	元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料	6,804							

**Check 事務事業の評価**

⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の価値観が多様化する中、社会教育事業に市民ニーズを反映させるための社会教育委員、高齢者学級及び家庭教育学級を運営するための社会教育指導員及び家庭教育指導員の存在は大きい。また、生涯学習や文化芸術に関する市民の関心は高まっており、今後も市民ニーズは増大・複雑化と思われる。	A
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育委員、指導員は、社会教育・生涯学習を推進するため大きな役割を担っている。また、文化芸術基本法により市が地域の特性に応じた施策を実施する必要があることから、市民に文化芸術の発表・鑑賞機会を提供することは必要である。なお、市民が主役の事業については協働で開催しており、市民ニーズを踏まえた学習・発表の機会を提供することは市の責務である。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	市民の意見を事業に反映させることで事業の充実が図られ、講演会や大会を開催することで市民への学習機会の提供につながっている。また、委員、指導員等の指導・助言により円滑な事業の実施に繋がり、多数の市民が文化芸術活動に参加している。	B
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	専門知識を有する委員、指導員の指導・助言により効率的な事業の実施を図るとともに、ボランティアの活用等により経費の節減を図っている。市民が主役の行事は、協働により多くの事業を実施している。	B
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 講座等で材料費・保険料等が必要な場合は参加者の負担としている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	少子高齢化や家庭教育の重要性が注目されている現代において、社会教育委員や指導員の指導・助言のもと、地域力の向上につながる講演会や講座等を実施することができた。また、市民が主体的に参加できる事業を企画し、市民との協働により各種事業を実施することができた。今後は、参加者の固定化や減少化、会場施設の充実が課題である。	B
外部評価					
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	B
				評価者 2	B

**Action 今後の事務事業の方向**

⑥	2年度における取組のPRと方向性									
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向								
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 完了	
		市民ニーズに迅速かつ適切に対応していくことを考慮し、本構想においては、20年後の建替え又は改修等について再度検討するものとする。施設の形態については、複合施設を含め、具体的な施設計画の検討を行う。								

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		中央公民館管理運営費						部 局		教育委員会	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		(八街市総合計画) 2015		具体的施策		社会教育活動の推進					
		実施計画		開始	2015	終了	2019	主な計画事業		中央公民館の学習環境整備	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )				実施根拠		社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例			
直接の対象者 (～に対して)		市民				最終的な受益者		市民			
事業目的 (～という状態にするために)		学術及び文化に関する各種講座、こうみんかん祭等の事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。									
具体的な事業内容 (～を行う)		学術及び文化に関する各種講座等、こうみんかん祭、ひまわり絵画展の開催。公民館運営審議会において事業の企画実施等につき調査審議。									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目		施設の老朽化が著しく、市民から備品等の整備要望が出ている。							
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)			
		事業の実績		1	学術及び文化に関する各種講座の開催	回	18	20	15	20	
				2	こうみんかん祭	回	1	1	0	1	
				3	ひまわり絵画展	回	1	1	1	1	
		事業の効果		1	主催事業参加人数(延べ人数)	人	1,633	1,487	1,131 (※①3,884)	2,000	
				2	来館者数	人	5,672	4,727	中止	5,000	
				3	出展者数	人	1,166	1,164	1,207	800	
		事業効果に関する外部要因		台風・豪雨の影響により9月8日から30日、10月11日から14日まで休館(5講座中止、1講座1部中止) 新型コロナウイルス感染症予防対策により3月7日から31日まで休館(こうみんかん祭中止)							
		事業効果の総合分析(達成できたこと)		台風・豪雨による休館、新型コロナウイルス感染症予防対策による休館などがあり、講座・イベントが一部中止となった。しかしながら、開催できた各種講座については、社会教育の推進という施策の実現に有効な手段となっており、単なる知識学習だけでなく参加者間のコミュニケーションや人間関係を深めることができた。 ※①「こうみんかんラジオ体操部」含む延べ参加人数							
		④ 事業コスト		区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)	
(最終)予算額				千円	18,445	23,293	21,814	21,405			
決算額				千円	18,165	22,585	20,866				
				特定・その他財源(使用料)	千円	2,446	2,633	1,819			
				一般財源	千円	15,719	19,952	19,047			
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		報償費	595	使用料及び賃借料	1,227						
		需用費	7,941	備品購入費	1,596						
		委託料	8,369								

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として実際の生活に即する各種事業を行い、日常生活に密着した総合的な社会教育施設として必要不可欠である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館の目的・事業が示されており、実際生活に即する教育、学術、文化に関する各種事業を市として行うことは妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	すべての市民を対象としているため効果はあると思われる。各種講座時のアンケート結果では、受講者の満足度は高いことから期待された効果は得られている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	各種研修会への参加、社会教育主事講習等の受講により職員の専門性を高めて、事業の効率性を高めていくことができる。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	公民館の運営に関する事業計画は公民館運営審議会の意見を聞いて教育委員会が決定している。また、受講者から材料に係る経費は徴収し、受益者負担としているため適切である。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	学びを通じた住民相互の出会いや交流・連携を促進する。今後とも広報やホームページ等を活用して主催事業のPRや社会教育関係各課・関係団体との連携を積極的に行い、市民のニーズに応えた各種事業を実施する。		A	
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	2年度における取組のPRと方向性	主催学習講座でのアンケート調査や社会教育関係各課・団体等との協議を実施し、市民の社会教育に対するニーズを把握する。市民からの要望やアンケート結果・社会情勢等を考慮しながら次年度の各種事業を計画し、公民館運営審議会の審議により多くの市民が参加できるような事業展開を行っていく。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		生涯学習活動の場を提供し、教育・文化活動を展開するのは公民館の重要な役割である。今後も、中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方基本構想を踏まえ、研修会等への積極的な参加により職員の専門性・資質の向上や市民ニーズや時代にあった主催事業を展開するとともに、公民館が地域づくりの拠点となるような事業の展開を図ります。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
① 事務事業の概要	事務事業名		中央公民館整備事業費					所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	中央公民館・管理事業班		
									電話番号	443-3225	内線	
									E-mail	c_kominkan@city.yachimata.lg.jp		
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
	(八街市総合計画) 2015		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
			具体的施策	社会教育活動の推進								
			実施計画	開始	2015	終了	2019	主な計画事業	中央公民館整備事業			
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )					実施根拠	社会教育法 八街市公民館の設置及び管理に関する条例			
	直接の対象者 (～に対して)		市民					最終的な受益者	市民			
事業目的 (～という状態にするために)		社会教育・生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている中央公民館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。										
具体的な事業内容 (～を行う)		・南棟給排水衛生設備改修工事 ・自家発電設備改修工事 ・青年団体室空調設備改修工事										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目	施設の老朽化が著しく、市民から施設の改修整備要望が出ている。								
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	1	設計監理業務	件	1	1	0	2				
		2	施設等改修工事	件	2	6	3	3				
		3										
	事業の効果	1	設計監理業務	千円	951	1,080	0	4,081				
		2	施設等改修工事	千円	4,087	29,723	3,680	28,927				
		3										
		4										
	事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		工事に伴う設計・監理・工事の事務手続きを迅速に行い、利用者・市行事にできる限り影響が少ない期間で工事を完成することができた。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	5,038	51,759	3,680	33,008					
	決算額			千円	5,038	30,803	3,680					
		特定・その他財源(使用料)	千円	0	19,500	0						
			一般財源	千円	5,038	11,303	3,680					
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			工事請負費                      3,680									

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内唯一の公民館として市民の生活文化振興上、必要不可欠である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	社会教育法で公民館を設置し、市民への生涯学習の場を提供し、社会教育事業を行う団体を支援することが規定されている。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	公民館は、市民の生活文化振興上、必要不可欠であり施設の早期改修・計画的な改修は最も有効な手段である。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	施設の老朽化は進んでいるが、計画的に施設を改修することにより事業の効率性を高めることができる。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	整備事業については、その効果を考慮しなければならず、コスト削減は難しい状況にあるが、老朽化した施設補修に関し緊急性の高いものから計画的に改修を実施している。	A
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	b	中央公民館は、開館から40年(昭和54年11月)余り経過し、施設改修費等、今後数年間は多大な財源が必要となる。また、公民館にかわる文化施設が市内に無いことから、改修に伴う施設の休館等で市民の文化活動にも影響が出る恐れがある。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	市民が公民館を安全に安心して利用できる環境整備とサービスの提供を確保する。また、職員の資質向上や施設の整備に関する検討など、居心地の良い、活気ある施設づくりに向けた取り組みを進めます。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		開館から40年余り経過し施設や設備の老朽化が著しいことから、八街市教育施設長寿命化計画・中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方基本構想・八街市公共施設等総合管理計画を踏まえ、計画的な施設整備を図ります。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		図書館管理運営費(臨時職員の雇用、施設等の維持管理)						部 局		教育委員会	
								課等・班		図書館・管理班	
								電話番号		444-4946 内線	
								E-mail		toshokan@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		図書館機能の充実		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	
	直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者		市民及び市内在勤・在学者	
事業目的(〜という状態にするために)	市民が利用しやすい図書館としての環境整備・維持管理										
具体的な事業内容(〜を行う)	・臨時職員の雇用、シフト管理を行う。 ・契約事務：清掃、警備、電気工作物保安管理、消防設備保守点検、委託業務など契約事務を行う ・会計処理：備品購入、機器の賃借、複写機、トイレ洗浄・静菌システムの賃借、書誌データ使用料などの会計処理を行う ・施設、設備等の簡易な修繕、維持管理を行う ・図書館協議会の開催 ・統計調査の回答を行う										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	開館日数、開館時間の延長要望が多い								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	1	臨時職員雇用人数	人	11	11	10	9			
		2	各種業務委託件数	件	11	9	10	11			
		3	各機器等の賃借・使用件数	件	6	6	8	6			
		4	施設、設備の修繕件数	件	4	16	5	4			
		5	図書館協議会	回	3	2	1	2			
	事業の効果										
事業効果に関する外部要因		各機器等の賃借・使用件数増加は空調システムの故障により臨時で工場扇、気化式冷風機の賃借を行ったため。また、図書館協議会の開催件数の減少は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		度重なる災害に見舞われたものの、安心・安全な環境を早急に整えることにより利用者に対して適切なサービスを提供することができた。また、臨時職員の雇用や定期契約事務などを計画的に行い滞りなく事業をすすめることができた。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	31,279	34,511	29,520	21,706				
	決算額			千円	31,108	34,133	28,253				
		特定・その他財源( )	千円			217					
	一般財源		千円	31,108	34,133	28,036					
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			賃金	7,774	光熱水費	5,209					
			委託料	6,095	修繕料	795					
			使用料及び賃借料	6,948	その他	1,432					

Check 事務事業の評価					
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	快適な読書環境の整備、維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能を求められている。	A
		市の関与は妥当ですか	a	市が直接関与するよう法律や条例で定められた公共施設であり妥当である。	
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	図書館運営、管理について、概ね期待通りの成果を得られている。	A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	障害・災害対応に追われつつも限られた事業費の中で最大限の成果を得るために、維持管理に努めた。 また、正規職員を効率よく各種事業に配置するために、移動図書館車の運転業務要員として臨時職員を充てる、夜間開館業務をシルバー人材センターに業務委託するなど、事業の効率化を図っている。	A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし 公平性に問題はないが、公の財産に係る経費の適切な負担の在り方の観点から、サービスを受ける者に一定の負担を求めている。今後も、社会情勢を鑑みながら対価不徴収の原則を維持しつつ、一定の場合に受益者の負担を求めることについて、その適否を適宜検討する必要がある。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	生涯学習の場として、安心・安全な環境のもと、利用者の視点に立ったサービスを提供した。	A
外部評価					
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 A 評価者 2 A	
Action 今後の事務事業の方向					
⑥	2年度における取組のPRと方向性	生涯学習施設として適切な読書環境と新型コロナウイルス感染症対策など利用者が安心してサービスを利用できる環境を提供する。			
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 今後も図書館としての快適な環境整備の維持、継続に努めるとともに、すべての市民が等しく図書館サービスを受けられるよう生涯学習施設としての機能の充実を図っていきたい。			

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		図書館管理運営費(資料収集、読書の普及、利用促進)						部 局		教育委員会	
								課等・班		図書館・奉仕班	
								電話番号		444-4946 内線	
								E-mail		toshokan@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	社会教育活動の推進								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		図書館機能の充実		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則	
直接の対象者(〜に対して)	市民及び市内在勤・在学者						最終的な受益者		市民及び市内在勤在学者		
事業目的(〜という状態にするために)	地域の情報拠点として、すべての市民が図書館サービスを楽しみ、必要な資料や情報を入手できるサービスの展開により、市民の情報リテラシーの向上を図る。また、子どもに対しては読書習慣の修得のため、子どもの読書推進計画に基づき、年齢に応じた子どもの読書環境の整備を図る。										
具体的な事業内容(〜を行う)	市民が自律的に判断、行動するために必要とする資料の計画的な収集と市民一人一人に対応した適切な提供を行う。これらの資料を効率的に入手し、活用するために、市民と資料を結びつける検索機能とレファレンスブックやデータベース、インターネット上の情報検索により、調査研究の援助を行う。子どもの読書習慣の普及のため図書館内でのおはなし会や親への働きかけを行う事業の充実を図る。さらなる図書館利用の促進のため、映画会、集会事業等を実施する。図書館に来館しにくい地域の高齢者や子どもなどの交通弱者のために移動図書館事業を行うとともに、障がい者への宅配や対面朗読も要請に応じて実施する。また、地域の読書活動を支援するため、団体貸出や団体の事業に司書を派遣する。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	子ども向けの読み聞かせや映画上映会の他にもライブラリーカフェ等、新たな取り組みにチャレンジしている図書館に期待を寄せる声がある反面、蔵書が少ない、Wi-fiの導入やパソコンを使用する場所や学習のためのスペースの要望がある。								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	1	図書購入冊数	冊	6,620	7,006	6,217	6,100			
		2	おはなし会の開催数	回	81	72	59	46			
		3	講座、映画会の開催数	回	132	242	175	74			
		4	図書館ホームページの更新数	回	97	104	78	60			
	事業の効果	1	図書貸出冊数	冊	296,882	282,495	238,779	210,000			
		2	おはなし会の参加者数	人	1,055	865	695	590			
		3	講座、映画会の参加者数	人	1,508	2,325	1,638	420			
		4	司書派遣事業参加者数	人	2,496	1,856	1,397	500			
		5	図書館ホームページの閲覧数	回	41,740	41,703	43,582	45,000			
事業効果に関する外部要因		本来令和元年度は290日開館の予定であったが、2回の台風、新型コロナウイルス感染予防のための休館、空調設備および床の張り替え工事のための休館が重なり、臨時窓口や臨時カウンターの開設、月末休館日や蔵書点検期間を開けるなど工夫したが、238日の開館となってしまった。また、夏休みの一番利用の多い時期に空調設備が故障してしまい快適な読書環境を提供できない日が多くなってしまった。									
事業効果の総合分析(達成できたこと)		上記の状況の中で、事業の実績も上がらず、効果も惨憺たるものだが、唯一図書館から情報発信してきたホームページの閲覧回数が目撃値を大きく上回った。これは、ホームページ上からの予約受付をなるべく止めなかったこと、また、図書館の現状を知るためにホームページを見ることが定着してきたと考えられる。また、このシートの項目には記載がないが、ツイッターで休館中も含め175回情報発信を行った。									
④ 事業コスト			単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
			千円	11,769	13,528	12,473	12,544				
	決算額			千円	11,732	13,475	12,449				
		特定・その他財源( )		千円	534	1,574	3,854				
		一般財源		千円	11,198	11,901	8,595				
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		図書購入費	10,300	消耗品費	1,286						
		報償	34	食糧費	16						
		旅費	3	通信運搬費	810						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	休館が多かった分、窓口でのレファレンスは減少したが、それを大幅に上回る電話でのレファレンスを受けた。また、ホームページの閲覧数も1,800件以上の増であり、市民のニーズは高い。		A
		市の関与は妥当ですか	a	図書館は市民だれでも利用でき、生涯学習を支える社会教育施設であり、今後さらに広がる市民の「情報格差」是正や図書館利用に障害のある人へのサービスを他の部署と連携しながら実施するなど、市の関与は妥当であり、必要である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	ライブラリーカフェやジュニア司書を活用したみんなで科学遊びなどへの参加者は増加している。また、幼稚園や保育園や学校と連携した施設見学では多くの子どもたちが見学に訪れ、図書館や図書館のサービスを身近に感じられる経験をしており、市民のニーズに合った事業の展開や、未来の利用者を育てることはさらなる利用へと繋がる可能性がある。		B
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	経費の節減に努めるとともに、効率的な執行を図っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない(図書館法第17条)	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	市民のニーズにあった継続事業は定着しつつあり、参加者数に現れてきた。市民協働についても、おはなし会や街の本箱事業、講座開催時の講師やジュニア司書の活動などが定着してきたが、これらの活動を含め事業の方法や事業自体の見直しや新規事業についても検討が必要な時期に来ている。元年度は思わぬ災害(悪天候や新型コロナウイルス感染症などを含む)に見舞われ、図書館としての機能を果たすことが難しかった。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
⑥						
2年度における取組のPRと方向性		サビエ図書館に加入することにより、障がい者サービスの拡充のため、関係機関と連携を図りながら、対象者への周知を図る。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために休館したり、利用制限をつけての開館の現状をホームページやツイッターを使用しない人に周知する方法を検討したい。				
事務事業の今後の方向性		取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	資料のさらなる充実と定着しつつある事業を継続するとともに、利用者アンケートを実施し利用者の満足度やニーズの調査をする。市民協働の観点からも事業の見直しと新規事業について検討していきたい。子どもの読書活動推進計画の中間検証を通し、子どもの読書環境のさらなる整備を図る。サビエ図書館を活用し、図書館の利用に障害のある人へのサービスを拡充していく。また災害時(悪天候や新型コロナウイルス感染症などを含む)の市民へ情報提供のあり方や、図書館ができるサービスについても検討したい。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名		図書館整備事業費				所管課等	部 局	教育委員会		
								課等・班	図書館・管理班		
								電話番号	444-4946	内線	
								E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp		
	当該事業が該当する個別計画等		基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							
	(八街市総合計画) 2015		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
			具体的施策	社会教育活動の推進							
			実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	図書館機能の充実		
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )				実施根拠	図書館法・八街市立図書館設置条例 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則			
	直接の対象者 (～に対して)		市民及び市内在勤・在学者				最終的な受益者	市民及び市内在勤・在学者			
事業目的 (～という状態にするために)		生涯学習を支える拠点として重要な社会教育施設である図書館を、市民が安全で安心して利用できるようにするために施設の計画的な修繕及び改修を行う。									
具体的な事業内容 (～を行う)		・空調設備更新工事設計業務 ・空調設備更新工事 ・空調設備更新工事監理業務 ・床張替工事									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	老朽化した施設への改善要望(照明設備、インターロッキング、雨漏り)が多数寄せられている。								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	1	工事設計業務	件	0	0	1	1			
		2	設計監理業務	件	0	0	1	0			
		3	施設等改修工事	件	0	0	3	0			
	事業の効果	1	工事設計業務	千円	0	0	2,689	1,360			
		2	設計監理業務	千円	0	0	2,178	0			
		3	施設等改修工事	千円	0	0	61,713	0			
		4									
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		工事に伴う設計・監理・工事の事務手続きを適切に行い、期間内に工事を完成することができた。								
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	0	0	73,323	1,360				
	決算額			千円	0	0	69,151				
		特定・その他財源(使用料)	千円	0	0	55,300					
			一般財源	千円	0	0	13,851				
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	113	備品購入費	2,571					
		委託料	4,867								
		工事請負費	61,600								

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	図書館は、市民の知る権利を保障する重要な社会的基盤として生涯学習を推進するうえで必要不可欠な施設である。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	現代社会は知識基盤社会であり、市民の課題解決を支える拠点としての図書館の役割は重要性を増しており、サービスを提供するための施設を市が維持管理することは妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	老朽化した施設の早期改善・計画的な改修は最も有効な手段であり、概ね期待通りの成果を得られている。		A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	総合計画や長寿命化計画等の改修計画を元に事業をすすめることにより、効率性を高めることができる。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	計画的に改修を進めているが、突発的な修繕工事が必要になるケースが増え、費用が増加傾向にある。調達には一般競争入札を基本としてコストの削減を図っている。	A	
	総合評価	総括及び事業実施上の課題	a	元年度は空調工事の設計、施行、床張替工事を連続して行った。この事業は図書館だけでは進められず、都市計画課や設計事務所、施工業者との調整が重要となっている。老朽化による修繕箇所増加は市全体に及ぶことであり、修繕の優先順位、予算の確保等関係各所との調整が一層求められる。		A	
外部評価							
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい	評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	2年度における取組のPRと方向性	市民が図書館をに安心安全に利用できる環境整備とサービスの提供を確保する。また、館内高天井照明及び非常灯の改修工事設計を滞りなく進めたい。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		経年劣化に伴い修繕箇所が多くなっている。総合計画、長寿命化計画等に沿って改修工事を進める。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止・予防対策を講じた施設への改修を行いたい。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 総合評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	視聴覚教材費						所管課等	部 局	教育委員会	
	(八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	図書館・管理班	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	444-4946	内線
		具体的施策	社会教育活動の推進						E-mail	toshokan@city.yachimata.lg.jp	
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	図書館機能の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 八街市立図書館の管理及び運営に関する規則		
	直接の対象者 (～に対して)	市民・教職員関係者・青少年相談員・団体関係者など						最終的な受益者	市民		
	事業目的 (～という状態にするために)	視聴覚教育を推進し、学校教育及び社会教育を充実し、市民の文化向上を図る。									
	具体的な事業内容 (～を行う)	・視聴覚機材・教材の購入整備及び維持管理									
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	機材の購入	台	3	2	6	5				
		教材の購入	本	4	6	0	4				
	事業の効果	機材貸出件数	件	366	465	283	200				
		教材貸出件数	件	40	22	13	10				
	事業効果に関する外部要因	台風15・19号の影響及び新型コロナウイルス感染症により各団体での機材教材の利用が減少したと考えられる。									
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	視聴覚機材については適正な管理、維持により、必要とされる機材を必要としている団体に提供することができた。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	308	355	339	309				
	決算額		千円	308	316	150					
		特定・その他財源( )	千円								
		一般財源	千円	308	316	150					
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	48								
		備品購入費	102								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	b	特に、官公署、ボランティア団体等各種団体からのニーズは高いため。		B			
		市の関与は妥当ですか	b	市所有の機材・教材であるため。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	c	機材については、ほぼ期待どおりの貸出効果であるが、教材の貸出効果は薄い。		C			
	効率性	事業の効率性を高められますか	b	事業効率の向上については平成30年度に図書館業務として統合を図った。		B			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市全体の社会教育を推進するうえで、公平性に問題はない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	b	利用団体等の要望を維持するため、事業の必要性を認め、図書館業務として事業を継続していく。		B			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	B				
				評価者 2	B				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	機材・教材の有効活用を図るとともに、魅力ある視聴覚機材及び教材を収集するための選定資料を確保し管理運営に努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		ひきつづき、古くなった機材・教材の除籍を行うとともに、機材の更新計画を策定し、人口減少、少子高齢化にみあった事業内容としたい。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		郷土資料館管理運営費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	郷土資料館	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1726	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	kyodo@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	文化財の保護・継承								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	郷土資料館の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律・社会教育法・博物館法・八街市郷土資料館設置条例		
	直接の対象者(〜に対して)	市民のみならず、来館される全ての方々						最終的な受益者	市民及び来館者		
事業目的(〜という状態にするために)	市内外の方々から寄贈・寄託された各種資料や、発掘調査等で得られた考古資料を広く公開し、市民の郷土への関心やふるさと意識が深まること、そして調査・研究に寄与することを目的とする。										
具体的な事業内容(〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設展示の開催</li> <li>・企画展示の開催(台風被害の為中止)</li> <li>・体験参加型の展示</li> <li>・映像展示の実施</li> <li>・図書閲覧コーナーの充実</li> <li>・市内小学校への出前授業</li> <li>・収蔵資料の保存整理作業</li> </ul>										
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	令和元年度に策定した「中央公民館・図書館・郷土資料館の在り方」基本構想でのアンケート									
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な資料があり、その他にも体験が出来る施設なのに、プレハブ小屋で狭く驚いた。歴史や八街市の重要な資料を大切にしたい。</li> <li>・歴史的な資料を残していく建物として不適切、建て直しが必要。</li> </ul>									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	企画展の開催数	回	1	1	0	0				
		郷土資料館の団体見学	回	7	6	5	0				
		市内各学校への出前授業	回	7	5	10	10				
	事業の効果	年間の来館者数	人	3,080	2,751	1,680	0				
		企画展開催中の来館者数	人	1,046	775	0	0				
郷土資料館の団体見学者数		人	294	263	175	0					
出前授業の参加者数		人	296	366	382	382					
事業効果に関する外部要因	昨年度の年間来館者数及び企画展来館者数が減少した要因は、台風15号の影響で、令和元年9月9日から臨時休館としたことによる。										
事業効果の総合分析(達成できたこと)	台風被害により企画展の中止など開催できなかった事業がある一方で、市内小学校の出前授業や市民講座、その他にも郷土資料館が所蔵する資料や展示資料の整備作業を実施した。市内小学校の出前授業は「古い道具と昔のくらし」をテーマに、昔の民具・農具の解説から過去との生活様式の違いや、併せて八街の歴史を学習する授業を行った。例年に比べて授業数が増えたことから、歴史の授業を通じて郷土に対する興味関心の向上に効果があったと考えられる。また、台風被害で雨漏りによる展示資料の雨水被害があったため、市民ボランティア協力のもと民具・農具類のサビの除去や、サビ防止のための油の塗装など、資料の保全作業を行った。										
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	31年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	6,535	2,982	4,308	1,680				
	決算額		千円	6,463	2,791	4,188					
		特定・その他財源( )	千円	45	54						
		一般財源	千円	6,418	2,737	4,188					
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賃金	1,952	役員費	192	備品購入費	666				
		旅費	2	委託料	618	負担金	5				
		需要費	577	使用料及び賃借料	176						

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	例年行っている、市内の出前授業数も年々増えつつあり、その他、高齢者学級など各種団体の講座や見学案内の依頼もある。若年層から高齢層まで幅広い年齢層から求められる施設である。また、令和元年の台風被害以後、早期の建て直しを望む意見を受けている。		A
		市の関与は妥当ですか	a	八街の歴史を多くの方々に理解してもらうため、調査・研究成果を常設展示及び企画展示、出前授業・講座に反映できるので妥当と思われる。その他にも蓄積した情報を、広く提供できることから妥当である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	企画展を開催し、常設展示の内容も年々改変させることにより、市民に繰り返し来館いただき、市民の八街の歴史に対する認識は深まりつつある。その他、他市町からの資料情報の提供(閲覧・撮影)依頼も増えている。また、出前授業や講座を開催後に来館される方が多いことから、資料館へ導く効果に繋がっている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	来館者に満足していただけるよう、限られた予算の中で展示方法などに常に工夫をしている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	広く一般に無料で開放している施設であり、公平性は保たれている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	令和元年度は、台風被害により本来の事業よりも、資料館の取り壊しに伴う、移転先の検討や収蔵資料の分散して保存するスペースの確保などを行わなければならなかった。令和2年度は、分散保存先の川上小学校での民具・農具類の展示室を設けることや、令和3年4月から中央公民館で開始する郷土資料館の展示室の展示内容・構成を検討する。その他にも、新たな郷土資料館の構想を検討する課題がある。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	令和2年度の取り組みは、前期は郷土資料館取り壊しに伴う、収蔵資料の移転作業が主となる。後期は、郷土資料館から川上小学校へ避難させた民具・農具を活用した展示室を設ける。その他にも、令和3年4月から中央公民館2階中会議室で郷土資料館の展示室を再開することから、その展示構成の内容検討とその準備を行う。 また、収蔵資料の整理では前山家文書・用草区有文書・旧川上村公文書など古文書の目録整理作業を行う。その他、市制施行30周年記念誌に向けた古い八街の風景を写した写真の整理・スキャニング作業を行う。				
	事務事業の今後の方向性	<p style="text-align: center;">取り組み方向</p> <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了				
		令和3年度から、中央公民館での展示室を再開することとなるが、歴史的資料の保存していく適正な施設でなく、スペースも所蔵資料に対して狭隘であることから、将来的には新たな資料館を別に設けることを検討し、貴重な歴史的財産の損失を早期に防がなければならない。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図つたうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要										
事務事業名	市史編さん費						所管課等	部 局	教育委員会	
								課等・班	郷土資料館	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				E-mail	電話番号	443-1726	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
	具体的施策	文化財の保護・継承								
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	市史編さん事業			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )					実施根拠	公文書館法・公文書等の管理に関する法律 八街市史編さん委員会条例			
直接の対象者 (〜に対して)	市民及び八街の歴史に興味のある方々					最終的な受益者	市民、八街の歴史に興味のある方々			
事業目的 (〜という状態にするために)	八街市内ならびに市外に残されている八街に関する古文書など、全ての史・資料を調査研究し、八街の歴史を解明し深化させることにある。そして、明らかになった八街の歴史を『市史』を含む刊行物、展示を通じて、後世に歴史的遺産として伝えることである。									
具体的な事業内容 (〜を行う)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八街市史編さん委員会</li> <li>・八街市史編さん委員会 近世専門部会</li> <li>・八街市史編さん委員会 近現代専門部会</li> <li>・八街市史関連の図書の刊行</li> </ul>									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施										
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	31年度	2年度(目標)			
	事業の実績	市史編さん委員会開催日数		日	2	2	1	2		
		近世専門部会開催日数		日	1	1	1	1		
		近現代専門部会開催日数		日	1	1	1	1		
	事業の効果	市史編さん委員会審議件数		件	4	4	4	4		
		近世専門部会委員のべ活動日数		日	37	34	44	45		
近現代専門部会委員のべ活動日数		日	74	72	68	45				
事業効果に関する外部要因										
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		近世専門部会は、根古谷法宣寺所蔵文書の封筒詰め・目録作成作業を行った。その他にも、岡田区有文書を借用し、目録作成および写真撮影を実施した。 近現代専門部会は大関区有文書の目録編成作業を行った。市外調査としては八街関連資料(三井文庫、早稲田大学図書館、国立国会図書館、国立公文書館)の調査・収集を行った。その他にも、前山家文書の目録作成作業や平成29年度に総務課から移管した旧川上村役場文書の目録作成作業を行った。 また、『市制施行30周年記念誌』の刊行に向けて、30年度に秘書広報課から受け入れた写真類の分類・スキャニング作業を行った。								
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	31年度	元年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	2,546	2,643	2,572	2,555			
	決算額			千円	2,378	2,627	2,537			
		特定・その他財源( )	千円	69						
	一般財源		千円	2,309	2,627	2,537				
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	21	役務費	675				
			報償費	1,438	負担金	8				
			需要費	395						

Check 事務事業の評価																	
⑤ 事務事業の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価												
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市内から新たに発見された古文書等について調査研究を進め、八街の歴史解明が深まれば、さらに市民のニーズが高まると思われる。		A											
		市の関与は妥当ですか	b	市の歴史を明らかにする作業であるため、直営で実施すべきである。													
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	平成23年度に「図解八街の歴史」を刊行し、幅広い世代・年齢層の方に八街の歴史について知っていただいた。これは郷土資料館の来館者数の増加の要因の1つといえる。		A											
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の人員体制を続ける以上、長期的な展望を持ち、永続的に作業を続ける必要がある。		A											
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	事業の成果は八街市史として広く公開されるので、公平性に問題はない。	A											
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	年々、市史編さんの対象となる調査研究が進展していることで、八街市に関する史実の発掘が広がりつつあり、展示内容の充実や各種講座に活かすことができる。今後も継続的な取り組みが必要であるが、さらなる調査結果の深化と刊行スピードをあげるためには、全体的に予算不足である。		A											
外部評価																	
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A											
					評価者 2	A											
Action 今後の事務事業の方向																	
⑥	2年度における取組のPRと方向性	昨年度に引き続き、近世専門部会では、『八街市史 資料編 近世三』の刊行に向けて古文書の整理作業を進め、近現代専門部会では、『八街市史 資料編 近現代一』の刊行に向け調査研究を進める。 その他、事務局側においても各部会の『資料編』で必要となる市内所蔵資料について、悉皆調査を進め、古文書の収集・撮影・整理を進めていく。															
	事務事業の今後の方向性	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5">取り組み方向</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 新規</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充</td> <td><input type="checkbox"/> 統合</td> <td><input type="checkbox"/> 縮小</td> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 完了</td> </tr> </table> <p>『八街市史 資料編』の刊行に必要な郷土資料館収蔵資料の内、整理目録化が進んでいない資料群があり、それらを整理するには現状よりも活動日数の増加が必要と考える。</p>				取り組み方向					<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
取り組み方向																	
<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了										

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		八街市ピーナッツ駅伝大会運営費						所管課等	部 局	教育委員会		
									課等・班	スポーツ振興課・振興班		
									電話番号	443-1465	内線	
									E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた									
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街									
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツイベントの開催				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	スポーツ基本法			
直接の対象者(～に対して)	市民						最終的な受益者	市民				
事業目的(～という状態にするために)	冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進と体力の向上及びランニングについての関心を高める。走る楽しさや喜びと共に地域融和の発展を図る。											
具体的な事業内容(～を行う)	駅伝大会の実施。 ・一般の部(5区間、21.00km)・高校の部(5区間、21.00km)・中学男子の部(8区間、21.00km) ・中学女子の部(5区間、12.35km)・女子の部(5区間、12.35km)・オープンの部(5区間、21.00km)											
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	ピーナッツ駅伝大会	回	1	1	1	1					
	事業の効果	ピーナッツ駅伝大会参加者数	人	404	388	374	460					
		ピーナッツ駅伝大会参加チーム	チーム	66	63	54	80					
事業効果に関する外部要因												
事業効果の総合分析(達成できたこと)	冬季(耐寒)スポーツの一環として実施し、健康増進及び体力の向上とランニングについての関心を高め、地域融和の発展を図った。令和元年度において、第63回となっている。											
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	907	944	919	2,990					
	決算額		千円	830	849	810						
		特定・その他財源( )	千円									
		一般財源	千円	830	849	810						
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		需用費	225									
		役務費	52									
		使用料及び賃借料	533									

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	生涯スポーツ推進に対し市民のニーズはたかまっており、参加者数の推移からも必要である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市主催の冬季最大の行事であり、令和元年度で63回となり妥当であると考えます。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	令和元年度で第63回の歴史があり、高校及びオープン部の参加チームの増加等からも有効である。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討し、実施を行っている。平成21年度にコース・区間の変更を行い、安全性、効率性を高めてきている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	6部門に分け募集を行い、それぞれの体力に見合うコース・区間設定や障害者の参加受け入れ体制等公平性に問題はない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回大会を実施し今日に至っている。今後、さらに市民のニーズに応えていく。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない		評価者 1	A				
		B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない		評価者 2	A				
		C 検討の余地あり							
		D 検討の余地は大きい							
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報やホームページ等によりPRを実施。また、八街の特産品の落花生とキャロットジュースのPRについても更なる検討をしていきたい。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		冬季スポーツ行事として最大のイベントであり、継続して実施していく。コース等の見直しなど、現状を把握し、各関係団体の協力を得て、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
① 事務事業の概要	事務事業名	学校開放推進費							所管課等	部 局	教育委員会		
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた							課等・班	スポーツ振興課・振興班		
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							電話番号	443-1465	内線	
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援		E-mail	suposhin@city.yachimata.lg.jp		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	スポーツ基本法・社会教育法 八街市立小学校及び中学校の施設の開放に関する規則				
	直接の対象者 (〜に対して)	市民							最終的な受益者	市民			
	事業目的 (〜という状態にするために)	八街市における社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で市民の利用に供する。											
	具体的な事業内容 (〜を行う)	市内小中学校の校庭、運動場、プールの一般開放を行い、施設の有効活用と市民の運動意識の高揚を図る。											
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
	Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	事業の実績	学校施設開放(屋内運動場)		施設	16	16	16	16					
		学校施設開放(屋外運動場)		施設	13	13	13	13					
		プール開放(八街北中学校、八街南中学校)		施設	2	2	2	0					
	事業の効果	学校開放利用者(屋内運動場)		人	170,349	167,821	136,229	172,000					
		学校開放利用者(屋外運動場)		人	33,748	34,672	31,363	38,000					
		プール開放利用者(実人数)		人	866	1,012	814	0					
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析(達成できたこと)		八街市における生涯スポーツの普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場確保のために、学校の施設を学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒及び一般市民の利用に供し、市民の運動意識高揚を図った。											
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	元年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	3,525	3,496	3,417	3,634						
	決算額			千円	3,430	3,419	3,349						
		特定・その他財源( )		千円									
	一般財源		千円	3,430	3,419	3,349							
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	19	委託料	3,110							
			役務費	18	賃借料	202							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市民の生涯スポーツの普及並びに幼児・児童の安全な遊び場確保のために市民のニーズは高い。	A				
		市の関与は妥当ですか	a	市で管理する学校施設を有効利用するための開放であり、必要不可欠である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市民の生涯スポーツに有効利用されており、現在飽和状態(待機あり)となっている。	A				
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	カギの長期貸出しを平成21年度から実施。プール開放については、引き続き入札を行って効率を図った。	A				
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし 学校施設のスポーツ開放にあたっては、団体登録を行い、参加希望者がある場合、代表者を紹介(本人了解済の団体)するなどしている。また、プール開放については全市民を対象にしており、公平性は保たれている。	A				
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	現在、スポーツ開放については、飽和状態で待機待ちの状態であり、耐震工事による利用停止など団体の利用箇所制限がされる。	A				
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	遊び場開放について、学校だより等による広報を依頼。今後においてもPRに努める。プール開放については現在、広報紙・ホームページやポスター等により市民に周知しておりますが、更に学校関係等にチラシを配付する等周知徹底する必要がある。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		学校施設のスポーツ開放、遊び場開放は市民のスポーツの振興及び意識の高揚のためにも継続して実施していかなければならないが、スポーツ開放について、飽和状態となっており、今後も利用状況を把握、整理し、効率を図ることが必要である。また、学校プール開放については、利用状況を精査し、効率のよい利用方法を更に検討する必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		保健体育総務費						部 局		教育委員会	
								課等・班		スポーツ振興課・振興班	
								電話番号		443-1465 内線	
								E-mail		suposhin@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	八街市スポーツ推進審議会条例 八街市スポーツ推進委員に関する規則		
	直接の対象者 (〜に対して)	スポーツ関係者						最終的な受益者	市民		
事業目的 (〜という状態にするために)	市のスポーツ推進を図るため、指導者の育成推進等										
具体的な事業内容 (〜を行う)	・スポーツ推進審議会委員、スポーツ推進委員報酬 ・印旛郡市体育協会負担金支出等 ・スポーツ振興事業国内遠征激励費支出等										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	スポーツ推進審議会会議		回	0	0	1	1			
		スポーツ推進委員会会議		回	5	5	5	5			
		スポーツ推進委員活動		回	68	68	60	68			
	事業の効果	スポーツ推進審議会会議		回	0	0	1	1			
		スポーツ推進委員活動		回	68	68	60	68			
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・本市スポーツ振興に係る基本的経費となっている。 ・スポーツ推進審議会は教育委員会の諮問に応じスポーツ推進の重要事項について、調査審議し、教育委員会へ建議している。 ・スポーツ推進委員については、ピーナッツ駅伝大会をはじめとする各種大会等において、競技役員として活躍している。 また、ノルディック・ウォークをはじめとしたニュースポーツの推進や体験教室などの各種教室等で講師として活躍している。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	4,336	4,487	4,418	2,400				
	決算額			千円	3,954	4,040	4,044				
		特定・その他財源( )		千円							
	一般財源		千円	3,954	4,040	4,044					
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			報酬	639	役務費	46	公課費	23			
			賃金	2,056	使用料及び賃借料	150					
			需用費	170	負担金及び補助金	960					

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市のスポーツ推進に対する市民のニーズは高くなっており、また、スポーツ推進の重要施策を調査審議・決定するスポーツ推進審議会会議、各行事等役員に関わるスポーツ推進委員会は、市民の生活に直接関係があり、スポーツ振興や健康づくり等のためにも必要である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	法に基づき市スポーツ推進の重要事項を審議、決定する機関であり不可欠である。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	スポーツ推進委員会会議5回実施した。本市スポーツ推進に係る基本的経費となっている。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	スポーツ推進審議会会議については、必要時に招集し審議を行っている。臨時職員を雇用・活用し業務を行っている。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	スポーツ推進審議会会議等で決定された事項は、市のスポーツ推進、各行事の円滑な運営に繋がるもので、公平性に問題はない。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	市民のニーズに対応するため、スポーツ推進審議会会議への諮問を基本とし、業務を遂行していく。また、市民のニーズにあった健康づくり等、スポーツの推進、振興を遂行していく。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	教育を取り巻く環境が激変する中、スポーツ推進審議会をはじめ、スポーツ推進委員会等の各種団体の意見を収集し、今後のスポーツの推進に役立てていく。また、現状を把握し、スポーツ推進委員等のマンパワーを活用し、本市のスポーツ推進を図っていく。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	スポーツ推進審議会は、市スポーツ推進の重要事項を審議・決定する機関であり、継続して実施していく必要がある。また、スポーツ推進委員によるニュースポーツの推進や運動を通じた健康づくりの支援等についても、さらに、現状を把握し、本市の一層のスポーツ推進を図っていくことが必要である。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
① 事務事業の概要	事務事業名	体育振興費						所管課等	部 局	教育委員会	
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	スポーツ振興課・振興班	
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1465	内線
	実施方法	具体的施策	生涯スポーツの推進						E-mail	suposhin@city.vachimata.lg.jp	
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツイベントの開催			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	スポーツ基本法 各種大会開催経費等		
	直接の対象者 (〜に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
事業目的 (〜という状態にするために)	各種スポーツ大会を開催し、市民の健康増進と相互の親睦を深める。										
具体的な事業内容 (〜を行う)	市民を対象とした各種スポーツ大会の開催 ・市民ゴルフ大会(5月)、近隣中学校交流野球大会(6月)、スポーツレクリエーション祭(8～翌年3月)、少年野球教室(12月)、近隣中学校交流柔道大会(1月)、八街落花生マラソン大会(10月) 各種スポーツ団体への活動補助金の交付 ・体育協会 ・スポーツ少年団 ・ママさんバレーボール連盟										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	市民ゴルフ大会		回	1	1	1	1			
		市スポーツ・レクリエーション祭		回	6	6	1	4			
		少年野球教室、市ロードレース大会		回	各1	各1	1	1			
	事業の効果	市民ゴルフ大会		人	132	136	108	140			
		市スポーツ・レクリエーション祭(インディアカ、ゲラウンドゴルフ等)		人	419	338	中止	450			
		少年野球教室		人	91	104	122	120			
市ロードレース大会(八街落花生マラソン大会(元年度～))		人	349	390	中止	延期					
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		令和元年度において、市民ゴルフ大会(36回)、少年野球教室(42回)については、市民に定着している事業となっている。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円		3,637	6,621	6,662	14,087			
	決算額			千円		3,545	6,257	6,517			
		特定・その他財源( )		千円			2,316	916			
	一般財源		千円		3,545	3,941	5,601				
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			報償費	189	使用料及び賃借料	78					
			需用費	475	補助金	5,745					
			役務費	30							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	本事業は、市民の生涯スポーツの推進への貢献が大きいため必要である。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	市主催事業として、妥当であると考ええる。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	実施回数、参加人数の推移からも有効と考えられる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	各事業前の関係団体等との打合せや実施後反省会等により翌年度の事業前に念入りに協議を行い、毎年実施につないでいる。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	市広報紙やホームページにより市全体に啓蒙を図っているため、公平性は保たれている。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	各事業実施前後、関係団体等との打合せ会議を実施し、前回の反省等協議を行い毎年実施している。今後、更に市民のニーズに応じていく。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	各関係機関及び団体との会議等の場や市広報紙・ホームページの活用によりPRに努める。また、各団体との信頼並びに協力体制の強化							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		本市のスポーツ振興、生涯スポーツの振興とスポーツを通しての健康づくりに必要不可欠であり、継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要												
事務事業名		郡市民体育大会運営費						所 管 課 等	部 局	教育委員会		
									課等・班	スポーツ振興課・振興班		
① 事務 事業 の 概 要	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-1465	内線	
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	suposhin@city.vachimata.lg.jp		
		具体的施策	生涯スポーツの推進									
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	運動を通じた健康づくりの支援				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	スポーツ基本法		
		直接の対象者 (〜に対して)	印旛郡市民						最終的な 受益者	印旛郡市民		
	事業目的 (〜という状態にするために)	印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図る。										
	具体的な事業内容 (〜を行う)	印旛郡市8市町、印旛郡市各市町教育委員会及び印旛郡市体育協会の主催で、毎年開催されている。令和元年度八街市は、柔道(八街中武道場)と弓道(八街市スポーツプラザ)が会場となり開催。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等											
Do 事務事業の実施												
③ 実績 ・ 成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	事業の実績	印旛郡市民大会		回	1	1	1	1				
	事業の効果	印旛郡市民体育大会(八街市延参加者)		人	309	312	241	330				
	事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析(達成できたこと)		印旛郡市民へのスポーツの普及と健康増進を図り、地域スポーツの振興発展と青少年の健全育成を図った。令和元年度で第70回の歴史がある。										
④ 事業 コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)					
	(最終)予算額		千円	77	53	52	76					
	決算額			千円	44	46	32					
		特定・その他財源( )	千円									
	一般財源		千円	44	46	32						
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			需用費	32								

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	市の教育行政に対する市民のニーズは高くなっており、生涯スポーツ振興についても同様である。印旛郡市全域より集まる印旛郡市最大のスポーツ行事となっている。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	印旛郡市の応分の負担として妥当である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	令和元年度で第70回の歴史があり、参加者数からも成果がみられる。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	毎年度、行事前後に関係団体等による会議を開催し、協議検討を行い次年度の実施を行い、効率性を高めてきている。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	市体育協会各専門部等により、選考会等開催し推薦により、選手を決定している。公平性に問題はない。	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	毎年度、前回の反省点を検証し次回の大会を実施し今日に至っている。今後、さらに印旛郡市民との振興を図っている。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	例年実施しているように、関係団体等の会議はもとより、市広報紙等によりPRに努める。							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		印旛郡市民との交流を図り、体力向上とスポーツの普及を図るため継続して実施していかなければならないが、さらに現状を把握し、一層の活性化を図ることが必要である。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
① 事務事業の概要	事務事業名	体育施設維持管理費						所管課等	部 局	教育委員会			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	スポーツ振興課・振興班			
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1465	内線		
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		E-mail	suposhin@city.vachimata.lg.jp			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	スポーツ基本法 八街市市営運動場の設置及び管理に関する条例				
	直接の対象者 (〜に対して)	社会体育施設(市営運動場)						最終的な受益者	市民				
	事業目的 (〜という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達及び生涯スポーツの推進に寄与する。											
具体的な事業内容 (〜を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・(市営運動場、ゲートボール場、グランドゴルフ場)												
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目											
Do 事務事業の実施													
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	事業の実績	グラウンド等光熱水費	千円	4,872	4,769	4,767	4,865						
		グラウンド等土地賃借料	千円	14,210	14,210	14,210	143,000						
		グラウンド等施設保守管理委託料	千円	6,688	7,522	6,810	7,047						
	事業の効果	社会体育施設利用状況	人	75,482	79,658	64,561	80,000						
		(中央、東部、西部、南部、北部グラウンド、榎戸サッカー場)											
		社会体育施設使用料	千円	709	683	616	683						
事業効果に関する外部要因													
事業効果の総合分析 (達成できたこと)	社会体育施設を維持管理し、市民等が安全に利用できるよう努め、心身の健康と生涯スポーツの推進に寄与した。												
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	28,500	29,854	27,184	27,285						
	決算額		千円	28,216	29,676	26,944							
		特定・その他財源( )	千円	709	883	616							
		一般財源	千円	27,507	28,793	26,328							
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		需用費	5,280	使用料及び賃借料	14,210								
		役務費	200	原材料費	113								
		委託料	6,810	備品購入費	331								

Check 事務事業の評価						
⑤	必要性	区分	一次評価	二次評価		
		市民からのニーズは高いですか	a	社会体育施設管理の適正な維持管理は利用者の安全を保っている。	A	
	市の関与は妥当ですか	a	社会体育施設の老朽化により、市の維持管理は不可欠である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市の社会体育施設であり、修繕等によりできる限り安全性を保持しているため有効である。	A	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	保守など委託契約については、入札等により業者の選定を図ることにより効率的に維持管理している。	A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	緊急性・安全性を考慮し、順位を決め実施することにより公平に実施している。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	施設管理等重要事項についてはスポーツ振興審議会会議に諮るなどして決定している。市民が安全に生涯スポーツを行っていただけるよう各施設の状況を把握、管理していかなければならない。	A	
外部評価						
	評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1 A 評価者 2 A		
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	安全管理及び施設の維持管理に努める。				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 社会体育施設の維持管理は老朽化等により継続して実施していかなければならない。さらに状況を把握し、危険性及び緊急性から修繕等優先順位を決め、維持管理すると共に、コストのかかる物については、長期的に計画、要望していく必要がある。				

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
① 事務事業の概要	事務事業名	体育施設整備事業費						所管課等	部 局	教育委員会			
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班	スポーツ振興課・振興班			
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号	443-1465	内線		
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		E-mail	suposhin@city.vachimata.lg.jp			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	スポーツ基本法 八街市市営運動場の設置及び管理に関する条例				
	直接の対象者 (～に対して)	社会体育施設(市営運動場)						最終的な受益者	市民				
	事業目的 (～という状態にするために)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達及び生涯スポーツの推進に寄与する。											
	具体的な事業内容 (～を行う)	社会体育施設を維持管理し、安全に利用できるよう努める。 ・榎戸サッカー場トイレ設置工事											
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目										
	Do 事務事業の実施												
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	事業の実績	工事請負件数	件	1	0	3	0						
		設計業務件数	件	0	0	1	1						
	事業の効果	施設設備の改修工事等の実施	千円	1,294	0	4,447	0						
		設計業務の実施	千円	0	0	0	6,039						
		事業効果に関する外部要因											
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)	市営運動場を維持管理し、安全に利用できるよう努め、市民の心身の健全な発達に寄与した。											
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)						
	(最終)予算額		千円	1,333	0	12,155	6,039						
	決算額	特定・その他財源( )	千円	1,294	0	4,447							
		一般財源	千円	1,294	0	4,447							
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		工事請負費 4,447										

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由		二次評価			
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	施設設備の老朽化や市民の要望も多い。		A			
		市の関与は妥当ですか	a	老朽化により、市の維持管理は不可欠である。					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	市の社会体育施設であり、修繕等によりできる限り安全性を保持しているため有効である。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	入札等により効率的に実施している。		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	各施設が安全に利用できるように、公平に実施している。		A		
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	重要事項についてはスポーツ振興審議会会議に諮るなどして決定している。更に市民が安全に生涯スポーツを行っていただけるよう実施している。		A			
外部評価									
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A				
				評価者 2	A				
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性								
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		社会体育施設(市営グラウンド)の老朽化により維持管理は継続して実施していかなければならない。さらに現状を把握し、危険性及び緊急性から工事等の優先順位を決め要求に努め、適正に維持管理すると共に、コストのかかる物については、長期的に計画・要望していく必要がある。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を因ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		スポーツプラザ管理運営費						所管課等	部 局	教育委員会	
									課等・班	スポーツプラザ・管理班	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						電話番号	443-8003	内線
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						E-mail	sports_plaza@city.yachimata.lg.jp	
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	生涯スポーツの推進								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツ施設の充実			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )						実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例		
	直接の対象者 (～に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
事業目的 (～という状態にするために)	施設の維持管理を適正に行い、利用者が安全にスポーツを楽しむ場を提供する。主として当施設の運営及び設備の維持・管理を適切に行うことによりスポーツ施設としての水準を維持することを目的とする。										
具体的な事業内容 (～を行う)	スポーツプラザ各種施設(体育館・テニスコート等)の運営及び清掃・警備・夜間の施設管理などの業務委託並びに老朽箇所の修繕、乗用草刈機の購入を行った。										
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績	委託関係	千円	9,870	1,243	10,751	12,287				
		修繕関係	千円	1,537	963	638	758				
	事業の効果	施設の安全性を維持した									
		施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した									
		施設利用件数		件	8,251	7,700	6,929	111,222			
施設利用人数		人	121,995	115,952	95,718						
事業効果に関する外部要因											
事業効果の総合分析 (達成できたこと)		おおむねサービス提供はできている。しかしながら、経年劣化による大規模な修繕箇所が増加しており、将来的なサービス提供の低下は避けられないと考える。また、卓球台やバスケットゴール・トレーニング器具などの備品や、バレーボール・バドミントン等のネットなどの消耗品も劣化が著しいため、随時入替が必要である。									
④ 事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	25,576	26,868	25,491	23,030				
	決算額			千円	24,584	25,773	24,685				
		特定・その他財源( )	千円	5,878	5,783	5,562					
	一般財源		千円	18,706	19,990	19,123					
元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			賃金	3,608	委託料	10,751					
			需用費	6,204	使用料及び賃借料	3,378					
			役務費	543	備品購入費	197					

**Check 事務事業の評価**

区分	一次評価	判定理由		二次評価	
必要性	市民からのニーズは高いですか	a	個人・団体からの問合せや予約も多いことから、市民からのニーズは高い。		A
	市の関与は妥当ですか	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。		
有効性	期待された効果は得られていますか	b	各施設の利用状況については微増微減はあるものの、概ね成果は得られている。		B
効率性	事業の効率性を高められますか	a	現在の状況を鑑みると、効率向上・コスト低減の余地はない。前述のとおり経年劣化が著しく、大規模修繕等が必須である。		A
公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	A	
総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、効率的な施設の維持管理を実施している		A
外部評価					
評価基準	A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
			評価者 2	A	

**Action 今後の事務事業の方向**

2年度における取組のPRと方向性	利用者が安心安全に社会体育を行うため、予算の範囲内で施設の維持管理及び修繕等を行い事故等が起こらないように努める。							
事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
	現在は部分的な改修に留まっているが、竣工後20年以上経過しているため大規模な修繕が必要であり、それにより将来的な維持管理費の抑制が計られる。 また、各種競技等に使用する備品関係においても、随時入替を行い、良好なサービス提供を図っていく。							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
①事務事業の概要	事務事業名	スポーツプラザ整備事業費						所管課等	部 局	教育委員会	
	当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた				課等・班		スポーツプラザ・管理班		
		施策の大綱	五の街 めざまし！心の豊かさを感じる街				電話番号		443-8003	内線	
		具体的施策	生涯スポーツの推進				E-mail		sports_plaza@city.yachimata.lg.jp		
	実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	スポーツ施設の充実				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠	八街市スポーツプラザの設置及び管理に関する条例		
	直接の対象者 (～に対して)	市民						最終的な受益者	市民		
	事業目的 (～という状態にするために)	主として社会体育施設としての水準を維持するために必要な改修等を行うことを目的とする。									
	具体的な事業内容 (～を行う)	浄化槽曝気ブロワー交換工事を行った。									
	②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目								
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	事業の実績		テニスコート人工芝改修工事	千円		44,465		1,927			
			メインアリーナ放送設備改修工事	千円		1,124					
			遊具設置工事	千円		972					
			浄化槽曝気ブロワー交換工事	千円			1,182				
	事業の効果		施設の安定性を維持した								
			施設の老朽化によるサービス水準の低下を防止した								
	事業効果に関する外部要因										
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		浄化槽曝気ブロワーの経年劣化により2台中1台を(1台は故障時の予備)交換し、安定した利用及び故障等の備えが図れた。また、他設備についても経年劣化が激しいため、今後の財政状況を鑑みながら定期的な改修または大規模改修が必要であると判断する。								
④事業コスト	区分		単位	29年度	30年度	元年度	2年度(目標)				
	(最終)予算額		千円	32,843	82,391	1,182	1,927				
	決算額			千円	2,098	67,807	1,182				
		特定・その他財源( )		千円		55,917					
		一般財源		千円	2,098	11,890	1,182				
	元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)		委託料 1,182								

Check 事務事業の評価							
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価		
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	経年劣化も激しいことから、市民のニーズは高い。		A	
		市の関与は妥当ですか	a	施設の規模や公共性の観点から市の関与は妥当である。			
	有効性	期待された効果は得られていますか	b	おおむね効果は得られている。		B	
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	入札による工事請負のため、効率化は図られていると考える。		A	
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	A		
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	スポーツ振興に寄与する施設として、安全で効率的な施設の維持管理を実施している		A	
外部評価							
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A		
				評価者 2	A		
Action 今後の事務事業の方向							
⑥	2年度における取組のPRと方向性	開場から28年が経ち施設の老朽化が顕著のため、計画的に改修を進めていく。また、利用状況、施設環境を考察しながら必要な大規模改修を中期的に計画し、利用者が利用しやすい施設になるよう務める。					
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向					
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止
		施工後20年以上経過しているため、大規模な修繕箇所が多々あり、財政状況を踏まえながら定期的な改修が必要であると判断する。					

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価



教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校給食センター一般管理費					所 管 課 等	部 局	教育委員会		
								課等・班	学校給食センター・管理班		
								電話番号	444-1181	内線	
								E-mail	kyushoku@city.yachimata.lg.jp		
①事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざまします！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業	学校給食の充実			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 (                      )					実施根拠	八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則 八街市学校給食費徴収規則		
		直接の対象者(〜に対して)	・幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒・保護者等					最終的な受益者	園児、児童、生徒、保護者等		
	事業目的(〜という状態にするために)	・園児、児童、生徒等に安定した給食を供給し、給食費の公平な徴収を行う。									
	具体的な事業内容(〜を行う)	・給食センター運営委員会の開催 ・給食事業に係る臨時職員の雇用等 ・給食費収納管理システムの活用									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目	・八街市総合計画2015後期基本計画基礎調査報告書(中間報告)における、まちづくり活動団体アンケートにおいて幼児教育・学校教育の充実は最も要望が高い								
Do 事務事業の実施											
③実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(目標)				
	事業の実績	1	給食費支払督促件数	人	2	12	11	10			
		2									
		3									
	事業の効果	1	学校給食費収納率	%	97.02	97.61	97.06	97.23(直近3年間の平均)以上			
		2	生活習慣病予防検診事後指導者数	人	57	33	38	30			
		3									
		4									
	事業効果に関する外部要因		・徴収対策について、子育て支援課(児童手当)、学校教育課(就学援助)、社会福祉課及び各学校からの協力								
	事業効果の総合分析(達成できたこと)		児童手当からの給食費の徴収は、給食費の徴収に効果を出している。しかし、手続きと事務処理に多くの手間と時間がかかるため、今以上の件数を扱うことには課題が多い。								
④事業コスト	区分		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	7,061	5,865	6,696	6,272	5,766			
	決算額		千円	6,305	5,095	6,314	5,758	-			
		特定・その他財源( )	千円	7	0	25	0	-			
		一般財源	千円	6,298	5,095	6,289	5,758	-			
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			賃金	1,341	委託料	1,758					
			需用費	948	使用料及び賃借料	421					
			役務費	1,244							

Check 事務事業の評価									
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価				
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・八街市総合計画2015後期基本計画基礎調査報告書(中間報告)における、まちづくり活動 団体アンケートにおいて幼児教育・学校教育の充実は最も要望が高い		A			
		市の関与は妥当ですか	a	・学校給食法第4条において学校給食事業は義務教育諸学校の設置者の任務とされている					
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・学校教育の充実を図るため、給食の円滑かつ安定的な供給は図られた。給食費収納率は児童手当徴収方法の変更等により成果が上がった。		A			
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・第一・第二両調理場の一括民間委託を平成29年度8月より実施 ・収納管理システムを用いた給食費収納業務の一元化により業務が円滑となる		A			
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	給食費の未納解消による公平性の確保を図る	A			
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	学校教育の充実を図るため、給食の円滑かつ安定した供給をはできたが、給食費収納率は昨年度よりわずかに低下しており、対応を検討する。		A			
外部評価									
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A			
					評価者 2	A			
Action 今後の事務事業の方向									
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・令和元年度の実績を踏まえ、令和2年度においても、給食費収納業務の円滑な運営に努める							
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向							
		<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大・拡充	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
		<input type="checkbox"/> 給食費収納管理システムを活用した業務の一元化により、今後もより一層の未納対策を進める <input type="checkbox"/> より効率的な徴収方法を検討する							

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校給食センター調理場維持管理費						部 局		教育委員会	
								課等・班		学校給食センター・管理班	
								電話番号		444-1181 内線	
								E-mail		kyushoku@city.yachimata.lg.jp	
① 事務事業の概要	当該事業が該当する個別計画等	基本構想	ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた								
		施策の大綱	五の街 めざます！心の豊かさを感じる街								
	(八街市総合計画) 2015	具体的施策	学校教育の充実								
		実施計画	開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校給食の充実		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		学校給食法 八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則	
	直接の対象者 (～に対して)							最終的な受益者		園児、児童、生徒、保護者等	
	事業目的 (～という状態にするために)	・給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等の維持管理を適切に行う。									
	具体的な事業内容 (～を行う)	・給食センターの施設、設備等の計画修繕 ・破損箇所の早急な修繕対応 ・施設設備等の状況確認									
②	市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等	該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果	区分		単位	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(目標)				
	事業の実績	1	維持管理対象設備・機器数	機	12	12	12	12			
		2									
		3									
	事業の効果	1	平均配食日数(小)	日	183	183	163	155			
		2	平均配食数(中)	日	185	185	167	155			
		3	調理委託業者からの修理依頼件数	件	66	66	44	58			
		4									
	事業効果に関する外部要因		・台風・大雨により、施設に大きな被害が生じ、給食センターの配食が停止した。 ・コロナウイルス感染拡大防止のため、学校が休校となり、配食日数が減少した。								
	事業効果の総合分析 (達成できたこと)		・施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた。 ・台風・大雨によるセンターへの被害に関して、適切に修繕を行い、給食を再開することが可能となった。								
④ 事業コスト	区分		単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(目標)			
	(最終)予算額		千円	19,717	27,212	49,063	63,934	54,083			
	決算額		千円	17,433	25,188	25,440	23,470	-			
		特定・その他財源( )	千円			600		-			
		一般財源	千円	17,433	25,188	24,840	23,470	-			
令和元年度の主な歳出節別内訳 (単位:千円)			需用費	4,831	使用料及び賃借料	106					
			委託料	14,214	役務費	495					
			工事請負費	3,824							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・学校給食業務を適切に管理・運営するためには、施設、設備等の維持管理が必要不可欠である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	・学校給食法に基づき市が実施する事業であり、限られた予算の範囲で優先順位を定め対応している。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保ち安定的な給食の供給ができています。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つと同時にコスト面も考慮している。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	・給食の調理に要する費用(賄材料費は除く)は、全て市の負担となっていることから公平性に問題はない	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	主たる工事、修繕等は実施できた。施設の長寿命化のため、計画的な修繕が実施できるよう、具体的な計画の立案が必要である。		A
外部評価						
評価基準		A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A	
				評価者 2	A	
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・給食センターの施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つことにより安全で安心な学校給食の調理及び配食を行う				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了  ・現在の施設、設備等の老朽化が進行しているため、今後も安全で安心な給食の供給を続けるためには、適切で計画的な維持管理を図る必要があり、その中には、大規模な改修が必要となる箇所もあるため、コスト増は避けられないため、修繕予算の拡充を強く求めたい。				

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要											
事務事業名		学校給食センター調理場給食事業費						部 局		教育委員会	
① 事務事業の概要		当該事業が該当する個別計画等		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた					
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街							
		(八街市総合計画) 2015		具体的施策		学校教育の充実					
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校給食センターの整備	
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 給食費 )				実施根拠		学校給食法 八街市学校給食費徴収規則			
直接の対象者 (〜に対して)		・学校給食を受ける園児、児童、生徒等						最終的な受益者		園児、児童、生徒、保護者等	
事業目的 (〜という状態にするために)		・児童、生徒の心身の健全な発達のため、食事についての正しい理解と食生活を身につけさせる									
具体的な事業内容 (〜を行う)		・市内13小中学校は、センター調理による給食の供給を、市内3幼稚園は、外部発注により、どちらも安心して質の高い給食を供給する。									
② 市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目									
Do 事務事業の実施											
③ 実績・成果		区分		単位	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(目標)			
		事業の実績		1	平均配食数(児・生)	食	5,257	5,035	4,888	4,736	
				2	平均配食数(幼)	食	224	183	195	211	
				3							
		事業の効果		1	残さい率(小)	%	14.6	14.6	米33.2%・パン12.2% 惣菜等15.5%	それぞれ前年度比▲1%	
				2	残さい率(中)	%	16.8	13.6	米29.9%・パン14.4% 惣菜等12.5%	それぞれ前年度比▲1%	
				3	給食事故件数	件	0	0	0	0	
				4	残さい(牛乳)	kg	-	-	10,880	それぞれ前年度比▲1%	
		事業効果に関する外部要因		・第一調理場(調理業務)を平成20年度より民間委託している ・第二調理場(調理業務)を平成28年度より民間委託している (平成29年8月より第一、第二調理場を一括して3カ年契約)							
		事業効果の総合分析(達成できたこと)		・安全で安心な質の高い学校給食を配食することができた ・残さい率は、令和元年度より米飯・パンも計れるようになったため、前年度よりも数値は上昇したが、課題の洗い出しに資する内容となると考えられる。							
④ 事業コスト		区分		単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(目標)		
		(最終)予算額		千円	482,827	488,447	473,812	496,509	473,278		
		決算額		千円	470,220	479,738	470,469	474,645	-		
				特定・その他財源( )	千円	286,734	275,101	261,416	219,812	-	
				一般財源	千円	183,486	204,637	209,053	254,833	-	
元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)		賄材料費		240,518							
		委託料		159,311							

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・学校給食事業は児童、生徒の心身の健全な発達、食事についての正しい理解と食生活を身につけることなどを目的としている		A
		市の関与は妥当ですか	a	・配食日数や配食内容等を日常的に詳細に管理し、適切に供給している		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・児童、生徒が、心身の健全な発達、食事についての正しい理解、望ましい食生活を身につけることができたと考えられる。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・材料の選定や献立の工夫等により給食内容の充実が図られており、現状でのコスト削減は困難。 ・PFIによる事業継続の可能性などを探れば、効率性は高められると考える。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担あり <input type="checkbox"/> 受益者負担なし	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者より賄材料費を給食費として徴収している。 <input checked="" type="checkbox"/> 現年分の未納率は約3%となっている。	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	安心して高品質な学校給食を、安定して供給することができた。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・給食費は賄材料費に全額充当しているが、未納者も一定数いることから、負担の公平性も踏まえて、未納対策を行う。 ・食材や燃料等の高騰の懸念は常にあるため、材料の選定や献立の工夫等により、給食内容の質が低下しないよう努める。 ・第一・第二両調理場の調理業務については、引き続き民間委託を実施し、運用を図る(平成32年7月までの3カ年契約)				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向				
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	燃料費や食材費が高騰する懸念があることから、材料選定や献立の工夫等により、給食内容や質の低下が起きないように配慮していく。			

- ・ 一次評価 事務局等の評価
- ・ 二次評価 教育委員会の評価
- ・ 外部評価 教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価

教育委員会の事務事業評価シート

【事務事業評価シート】

Plan 事務事業の概要													
事務事業名		学校給食センター調理場維持管理費(明許繰越分)						部 局		教育委員会			
当該事業が該当する個別計画等 (八街市総合計画) 2015 ①事務事業の概要		基本構想		ひと・まち・みどりが輝くヒューマンフィールドやちまた						課等・班		学校給食センター・管理班	
		施策の大綱		五の街 めざます！心の豊かさを感じる街						電話番号		444-1181 内線	
		具体的施策		学校教育の充実						E-mail		kyushoku@city.yachimata.lg.jp	
		実施計画		開始	2017	終了	2019	主な計画事業		学校給食の充実			
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )						実施根拠		学校給食法 八街市学校給食センター設置条例 八街市学校給食センター管理運営規則			
直接の対象者(〜に対して)								最終的な受益者		園児、児童、生徒、保護者等			
事業目的(〜という状態にするために)		給食の円滑かつ安定的な供給を図るために、給食センターの施設、設備等の維持管理を適切に行う。											
具体的な事業内容(〜を行う)		・給食センターの施設、設備等の計画修繕 ・破損箇所の早急な修繕対応 ・施設設備等の状況確認 受変電設備改修監理業務 第一調理場施設改修工事											
②市民意識調査等からの結果分析その他市民から寄せられた意見等		該当項目											
Do 事務事業の実施													
③実績・成果		区分			単位	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(目標)				
		事業の実績		1	維持管理対象設備・機器数	機	12	12	12	12			
				2									
				3									
		事業の効果		1	平均配食日数(小)	日	183	183	163	155			
				2	平均配食数(中)	日	185	185	167	155			
				3	調理委託業者からの修理依頼件数	件	66	66	44	58			
				4									
		事業効果に関する外部要因		・台風・大雨により、施設に大きな被害が生じ、給食センターの配食が停止した。 ・コロナウイルス感染拡大防止のため、学校が休校となり、配食日数が減少した。									
		事業効果の総合分析(達成できたこと)		・施設、設備等を適切に維持管理し、学校給食業務を円滑に運営することができた。 ・台風・大雨によるセンターへの被害に関して、適切に修繕を行い、給食を再開することが可能となった。									
④事業コスト		区分			単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度(目標)			
		(最終)予算額			千円	-	-	-	21,687	31,085			
		決算額					千円				21,687	-	
				特定・その他財源( )			千円					-	
				一般財源			千円	0	0	0	21,687	-	
令和元年度の主な歳出節別内訳(単位:千円)			委託料		1,167								
			工事請負費		20,520								

Check 事務事業の評価						
⑤ 事務事業 の評価	区分		一次評価	判定理由	二次評価	
	必要性	市民からのニーズは高いですか	a	・学校給食業務を適切に管理・運営するためには、施設、設備等の維持管理が必要不可欠である。		A
		市の関与は妥当ですか	a	・学校給食法に基づき市が実施する事業であり、限られた予算の範囲で優先順位を定め対応している。		
	有効性	期待された効果は得られていますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保ち安定的な給食の供給ができています。		A
	効率性	事業の効率性を高められますか	a	・施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つと同時にコスト面も考慮している。		A
	公平性	事業効果の配分や受益者負担は適切ですか	a	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担なし	・給食の調理に要する費用(賄材料費は除く)は、全て市の負担となっていることから公平性に問題はない	A
	総括評価	総括及び事業実施上の課題	a	主たる工事、修繕等は実施できた。施設の長寿命化のため、計画的な修繕が実施できるよう、具体的な計画の立案が必要である。		A
外部評価						
評価基準			A 適切に実施されており検討の余地はない B 概ね適正に実施されており検討の余地はあまりない C 検討の余地あり D 検討の余地は大きい		評価者 1	A
					評価者 2	A
Action 今後の事務事業の方向						
⑥	2年度における取組のPRと方向性	・給食センターの施設、設備等を適切に維持管理し、良好な状態に保つことにより安全で安心な学校給食の調理及び配食を行う				
	事務事業の今後の方向性	取り組み方向 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・拡充 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了  ・現在の施設、設備等の老朽化が進行しているため、今後も安全で安心な給食の供給を続けるためには、適切で計画的な維持管理を図る必要があり、その中には、大規模な改修が必要となる箇所もあるため、コスト増は避けられないため、修繕予算の拡充を強く求めたい。				

- ・ 一次評価      事務局等の評価
- ・ 二次評価      教育委員会の評価
- ・ 外部評価      教育に関して学識経験を有する者の識見を図ったうえでの評価







「ヒーちゃん ナっちゃん」©八街市

八街市のイメージキャラクター